



API リファレンス

# IAM Access Analyzer



API バージョン 2019-11-01

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

# IAM Access Analyzer: API リファレンス

Copyright © 2024 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは、Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していない他のすべての商標は、それぞれの所有者の所有物であり、Amazon と提携、接続、または後援されている場合とされていない場合があります。

# Table of Contents

ようこそ .....	1
アクション .....	2
ApplyArchiveRule .....	4
リクエストの構文 .....	4
URI リクエストパラメータ .....	4
リクエストボディ .....	4
レスポンスの構文 .....	5
レスポンス要素 .....	5
エラー .....	5
その他の参照資料 .....	6
CancelPolicyGeneration .....	7
リクエストの構文 .....	7
URI リクエストパラメータ .....	7
リクエストボディ .....	7
レスポンスの構文 .....	7
レスポンス要素 .....	7
エラー .....	7
その他の参照資料 .....	8
CheckAccessNotGranted .....	9
リクエストの構文 .....	9
URI リクエストパラメータ .....	9
リクエストボディ .....	9
レスポンスの構文 .....	10
レスポンス要素 .....	11
エラー .....	11
以下の資料も参照してください。 .....	12
CheckNoNewAccess .....	13
リクエストの構文 .....	13
URI リクエストパラメータ .....	13
リクエストボディ .....	13
レスポンスの構文 .....	14
レスポンス要素 .....	14
エラー .....	15
その他の参照資料 .....	16

CheckNoPublicAccess .....	17
リクエストの構文 .....	17
URI リクエストパラメータ .....	17
リクエストボディ .....	17
レスポンスの構文 .....	18
レスポンス要素 .....	18
エラー .....	19
以下の資料も参照してください。 .....	20
CreateAccessPreview .....	21
リクエストの構文 .....	21
URI リクエストパラメータ .....	21
リクエストボディ .....	21
レスポンスの構文 .....	22
レスポンス要素 .....	22
エラー .....	22
その他の参照資料 .....	23
CreateAnalyzer .....	25
リクエストの構文 .....	25
URI リクエストパラメータ .....	25
リクエストボディ .....	25
レスポンスの構文 .....	27
レスポンス要素 .....	27
エラー .....	28
その他の参照資料 .....	28
CreateArchiveRule .....	30
リクエストの構文 .....	30
URI リクエストパラメータ .....	30
リクエストボディ .....	31
レスポンスの構文 .....	31
レスポンス要素 .....	31
エラー .....	31
その他の参照資料 .....	32
DeleteAnalyzer .....	34
リクエストの構文 .....	34
URI リクエストパラメータ .....	34
リクエスト本文 .....	34

レスポンスの構文 .....	34
レスポンス要素 .....	34
エラー .....	35
その他の参照資料 .....	35
DeleteArchiveRule .....	37
リクエストの構文 .....	37
URI リクエストパラメータ .....	37
リクエストボディ .....	37
レスポンスの構文 .....	37
レスポンス要素 .....	38
エラー .....	38
その他の参照資料 .....	38
GenerateFindingRecommendation .....	40
リクエストの構文 .....	40
URI リクエストパラメータ .....	40
リクエストボディ .....	40
レスポンスの構文 .....	40
レスポンス要素 .....	40
エラー .....	41
以下の資料も参照してください。 .....	41
GetAccessPreview .....	43
リクエストの構文 .....	43
URI リクエストパラメータ .....	43
リクエストボディ .....	43
レスポンスの構文 .....	43
レスポンス要素 .....	44
エラー .....	44
その他の参照資料 .....	45
GetAnalyzedResource .....	46
リクエストの構文 .....	46
URI リクエストパラメータ .....	46
リクエストボディ .....	46
レスポンスの構文 .....	46
レスポンス要素 .....	47
エラー .....	47
その他の参照資料 .....	48

GetAnalyzer .....	49
リクエストの構文 .....	49
URI リクエストパラメータ .....	49
リクエストボディ .....	49
レスポンスの構文 .....	49
レスポンス要素 .....	50
エラー .....	50
その他の参照資料 .....	51
GetArchiveRule .....	52
リクエストの構文 .....	52
URI リクエストパラメータ .....	52
リクエストボディ .....	52
レスポンスの構文 .....	52
レスポンス要素 .....	53
エラー .....	53
その他の参照資料 .....	54
GetFinding .....	55
リクエストの構文 .....	55
URI リクエストパラメータ .....	55
リクエストボディ .....	55
レスポンスの構文 .....	55
レスポンス要素 .....	56
エラー .....	56
その他の参照資料 .....	57
GetFindingRecommendation .....	59
リクエストの構文 .....	59
URI リクエストパラメータ .....	59
リクエスト本文 .....	59
レスポンスの構文 .....	60
レスポンス要素 .....	60
エラー .....	61
以下の資料も参照してください。 .....	62
GetFindingV2 .....	63
リクエストの構文 .....	63
URI リクエストパラメータ .....	63
リクエスト本文 .....	63

レスポンスの構文 .....	64
レスポンス要素 .....	64
エラー .....	66
その他の参照資料 .....	67
GetGeneratedPolicy .....	68
リクエストの構文 .....	68
URI リクエストパラメータ .....	68
リクエストボディ .....	68
レスポンスの構文 .....	69
レスポンス要素 .....	69
エラー .....	70
その他の参照資料 .....	70
ListAccessPreviewFindings .....	72
リクエストの構文 .....	72
URI リクエストパラメータ .....	72
リクエストボディ .....	72
レスポンスの構文 .....	73
レスポンス要素 .....	74
エラー .....	75
その他の参照資料 .....	75
ListAccessPreviews .....	77
リクエストの構文 .....	77
URI リクエストパラメータ .....	77
リクエスト本文 .....	77
レスポンスの構文 .....	77
レスポンス要素 .....	78
エラー .....	78
その他の参照資料 .....	79
ListAnalyzedResources .....	80
リクエストの構文 .....	80
URI リクエストパラメータ .....	80
リクエストボディ .....	80
レスポンスの構文 .....	81
レスポンス要素 .....	82
エラー .....	82
その他の参照資料 .....	83

ListAnalyzers .....	84
リクエストの構文 .....	84
URI リクエストパラメータ .....	84
リクエスト本文 .....	84
レスポンスの構文 .....	84
レスポンス要素 .....	85
エラー .....	85
その他の参照資料 .....	86
ListArchiveRules .....	87
リクエストの構文 .....	87
URI リクエストパラメータ .....	87
リクエスト本文 .....	87
レスポンスの構文 .....	87
レスポンス要素 .....	88
エラー .....	88
その他の参照資料 .....	89
ListFindings .....	90
リクエストの構文 .....	90
URI リクエストパラメータ .....	90
リクエストボディ .....	90
レスポンスの構文 .....	91
レスポンス要素 .....	92
エラー .....	93
その他の参照資料 .....	94
ListFindingsV2 .....	95
リクエストの構文 .....	95
URI リクエストパラメータ .....	95
リクエストボディ .....	95
レスポンスの構文 .....	96
レスポンス要素 .....	97
エラー .....	97
その他の参照資料 .....	98
ListPolicyGenerations .....	100
リクエストの構文 .....	100
URI リクエストパラメータ .....	100
リクエストボディ .....	100



レスポンスの構文 .....	100
レスポンス要素 .....	101
エラー .....	101
その他の参照資料 .....	102
ListTagsForResource .....	103
リクエストの構文 .....	103
URI リクエストパラメータ .....	103
リクエストボディ .....	103
レスポンスの構文 .....	103
レスポンス要素 .....	103
エラー .....	104
その他の参照資料 .....	104
StartPolicyGeneration .....	106
リクエストの構文 .....	106
URI リクエストパラメータ .....	106
リクエストボディ .....	106
レスポンスの構文 .....	107
レスポンス要素 .....	107
エラー .....	108
その他の参照資料 .....	109
StartResourceScan .....	110
リクエストの構文 .....	110
URI リクエストパラメータ .....	110
リクエストボディ .....	110
レスポンスの構文 .....	111
レスポンス要素 .....	111
エラー .....	111
その他の参照資料 .....	112
TagResource .....	113
リクエストの構文 .....	113
URI リクエストパラメータ .....	113
リクエストボディ .....	113
レスポンスの構文 .....	113
レスポンス要素 .....	114
エラー .....	114
その他の参照資料 .....	114

UntagResource .....	116
リクエストの構文 .....	116
URI リクエストパラメータ .....	116
リクエストボディ .....	116
レスポンスの構文 .....	116
レスポンス要素 .....	116
エラー .....	116
その他の参照資料 .....	117
UpdateArchiveRule .....	119
リクエストの構文 .....	119
URI リクエストパラメータ .....	119
リクエストボディ .....	120
レスポンスの構文 .....	120
レスポンス要素 .....	120
エラー .....	120
その他の参照資料 .....	121
UpdateFindings .....	122
リクエストの構文 .....	122
URI リクエストパラメータ .....	122
リクエストボディ .....	122
レスポンスの構文 .....	123
レスポンス要素 .....	123
エラー .....	123
その他の参照資料 .....	124
ValidatePolicy .....	126
リクエストの構文 .....	126
URI リクエストパラメータ .....	126
リクエストボディ .....	126
レスポンスの構文 .....	128
レスポンス要素 .....	129
エラー .....	129
その他の参照資料 .....	130
データ型 .....	131
Access .....	134
内容 .....	134
以下の資料も参照してください。 .....	134

AccessPreview .....	136
コンテンツ .....	136
その他の参照資料 .....	137
AccessPreviewFinding .....	138
コンテンツ .....	138
その他の参照資料 .....	141
AccessPreviewStatusReason .....	142
コンテンツ .....	142
以下の資料も参照してください。 .....	142
AccessPreviewSummary .....	143
コンテンツ .....	143
その他の参照資料 .....	144
AclGrantee .....	145
コンテンツ .....	145
その他の参照資料 .....	145
AnalyzedResource .....	146
コンテンツ .....	146
その他の参照資料 .....	148
AnalyzedResourceSummary .....	149
コンテンツ .....	149
以下の資料も参照してください。 .....	150
AnalyzerConfiguration .....	151
コンテンツ .....	151
その他の参照資料 .....	151
AnalyzerSummary .....	152
コンテンツ .....	152
その他の参照資料 .....	154
ArchiveRuleSummary .....	155
コンテンツ .....	155
以下の資料も参照してください。 .....	155
CloudTrailDetails .....	157
コンテンツ .....	157
その他の参照資料 .....	158
CloudTrailProperties .....	159
コンテンツ .....	159
以下の資料も参照してください。 .....	159

Configuration .....	161
コンテンツ .....	161
その他の参照資料 .....	163
Criterion .....	164
コンテンツ .....	164
その他の参照資料 .....	165
DynamodbStreamConfiguration .....	166
コンテンツ .....	166
その他の参照資料 .....	166
DynamodbTableConfiguration .....	167
コンテンツ .....	167
その他の参照資料 .....	167
EbsSnapshotConfiguration .....	168
コンテンツ .....	168
その他の参照資料 .....	169
EcrRepositoryConfiguration .....	170
コンテンツ .....	170
その他の参照資料 .....	170
EfsFileSystemConfiguration .....	171
コンテンツ .....	171
その他の参照資料 .....	171
ExternalAccessDetails .....	172
コンテンツ .....	172
その他の参照資料 .....	173
Finding .....	174
コンテンツ .....	174
その他の参照資料 .....	176
FindingDetails .....	178
コンテンツ .....	178
その他の参照資料 .....	179
FindingSource .....	180
コンテンツ .....	180
その他の参照資料 .....	180
FindingSourceDetail .....	181
コンテンツ .....	181
その他の参照資料 .....	181

FindingSummary .....	182
コンテンツ .....	182
その他の参照資料 .....	184
FindingSummaryV2 .....	186
コンテンツ .....	186
その他の参照資料 .....	188
GeneratedPolicy .....	189
コンテンツ .....	189
以下の資料も参照してください。 .....	189
GeneratedPolicyProperties .....	190
コンテンツ .....	190
その他の参照資料 .....	190
GeneratedPolicyResult .....	192
コンテンツ .....	192
その他の参照資料 .....	192
IamRoleConfiguration .....	193
コンテンツ .....	193
その他の参照資料 .....	193
InlineArchiveRule .....	194
コンテンツ .....	194
以下の資料も参照してください。 .....	194
InternetConfiguration .....	195
コンテンツ .....	195
その他の参照資料 .....	195
JobDetails .....	196
コンテンツ .....	196
その他の参照資料 .....	197
JobError .....	198
コンテンツ .....	198
以下の資料も参照してください。 .....	198
KmsGrantConfiguration .....	199
コンテンツ .....	199
その他の参照資料 .....	200
KmsGrantConstraints .....	201
コンテンツ .....	201
その他の参照資料 .....	201

KmsKeyConfiguration .....	202
コンテンツ .....	202
その他の参照資料 .....	202
Location .....	204
コンテンツ .....	204
以下の資料も参照してください。 .....	204
NetworkOriginConfiguration .....	205
コンテンツ .....	205
その他の参照資料 .....	205
PathElement .....	207
コンテンツ .....	207
その他の参照資料 .....	208
PolicyGeneration .....	209
コンテンツ .....	209
その他の参照資料 .....	210
PolicyGenerationDetails .....	211
コンテンツ .....	211
以下の資料も参照してください。 .....	211
Position .....	212
コンテンツ .....	212
以下の資料も参照してください。 .....	212
RdsDbClusterSnapshotAttributeValue .....	213
コンテンツ .....	213
その他の参照資料 .....	213
RdsDbClusterSnapshotConfiguration .....	215
コンテンツ .....	215
その他の参照資料 .....	215
RdsDbSnapshotAttributeValue .....	217
コンテンツ .....	217
その他の参照資料 .....	217
RdsDbSnapshotConfiguration .....	219
コンテンツ .....	219
その他の参照資料 .....	219
ReasonSummary .....	221
コンテンツ .....	221
その他の参照資料 .....	221

RecommendationError .....	222
内容 .....	222
以下の資料も参照してください。 .....	222
RecommendedStep .....	223
内容 .....	223
以下の資料も参照してください。 .....	223
S3AccessPointConfiguration .....	224
コンテンツ .....	224
その他の参照資料 .....	225
S3BucketAclGrantConfiguration .....	226
コンテンツ .....	226
以下の資料も参照してください。 .....	226
S3BucketConfiguration .....	227
コンテンツ .....	227
その他の参照資料 .....	228
S3ExpressDirectoryBucketConfiguration .....	229
コンテンツ .....	229
その他の参照資料 .....	229
S3PublicAccessBlockConfiguration .....	230
コンテンツ .....	230
以下の資料も参照してください。 .....	230
SecretsManagerSecretConfiguration .....	231
コンテンツ .....	231
その他の参照資料 .....	231
SnsTopicConfiguration .....	233
コンテンツ .....	233
その他の参照資料 .....	233
SortCriteria .....	234
コンテンツ .....	234
その他の参照資料 .....	234
Span .....	235
コンテンツ .....	235
以下の資料も参照してください。 .....	235
SqsQueueConfiguration .....	236
コンテンツ .....	236
その他の参照資料 .....	236

StatusReason .....	237
コンテンツ .....	237
以下の資料も参照してください。 .....	237
Substring .....	238
コンテンツ .....	238
以下の資料も参照してください。 .....	238
Trail .....	239
コンテンツ .....	239
その他の参照資料 .....	239
TrailProperties .....	241
コンテンツ .....	241
その他の参照資料 .....	241
UnusedAccessConfiguration .....	243
コンテンツ .....	243
その他の参照資料 .....	243
UnusedAction .....	244
コンテンツ .....	244
その他の参照資料 .....	244
UnusedIamRoleDetails .....	245
コンテンツ .....	245
その他の参照資料 .....	245
UnusedIamUserAccessKeyDetails .....	246
コンテンツ .....	246
その他の参照資料 .....	246
UnusedIamUserPasswordDetails .....	247
コンテンツ .....	247
その他の参照資料 .....	247
UnusedPermissionDetails .....	248
内容 .....	248
以下の資料も参照してください。 .....	248
UnusedPermissionsRecommendedStep .....	250
内容 .....	250
以下の資料も参照してください。 .....	251
ValidatePolicyFinding .....	252
コンテンツ .....	252
以下の資料も参照してください。 .....	253



ValidationExceptionField .....	254
コンテンツ .....	254
以下の資料も参照してください。 .....	254
VpcConfiguration .....	255
コンテンツ .....	255
以下の資料も参照してください。 .....	255
共通パラメータ .....	256
共通エラー .....	259
.....	cclxii

# ようこそ

AWS Identity and Access Management Access Analyzer は、一連の機能を提供することで、IAM ポリシーを設定、検証、および絞り込むのに役立ちます。その機能には、外部アクセスと未使用のアクセスの検出結果、ポリシーを検証するための基本ポリシーチェックとカスタムポリシーチェック、きめ細かなポリシーを生成するためのポリシー生成が含まれます。IAM Access Analyzer を使用して外部アクセスまたは未使用のアクセスを特定するには、まずアナライザーを作成する必要があります。

外部アクセスアナライザーは、外部プリンシパルへのアクセスを許可するリソースポリシーを識別できるようにすることで、リソースにアクセスする潜在的なリスクを特定するのに役立ちます。これは、ロジックベースの推論を使用してのリソースベースのポリシーを分析することで行われます。AWS 環境。外部プリンシパルは別のプリンシパルにすることができます AWS アカウント、ルートユーザー、IAM ユーザーまたはロール、フェデレーティッドユーザー、AWS サービス、または匿名ユーザー。IAM Access Analyzer を使用して、アクセス許可の変更をデプロイする前に、リソースへのパブリックアクセスとクロスアカウントアクセスをプレビューすることもできます。

未使用のアクセスアナライザーは、未使用の IAM ロール、未使用のアクセスキー、未使用のコンソールパスワード、および未使用のサービスおよびアクションレベルのアクセス許可を持つ IAM プリンシパルを識別できるようにすることで、潜在的な ID アクセスリスクを特定するのに役立ちます。

IAM Access Analyzer は、検出結果以外にも、アクセス許可の変更をデプロイする前にポリシーを検証するための基本ポリシーチェックとカスタム IAM ポリシーチェックを提供します。ログに記録されたアクセスアクティビティを使用して生成されたポリシーをアタッチすることで、ポリシー生成を使用してアクセス許可を絞り込むことができます CloudTrail。

このガイドでは、プログラムで呼び出すことができる IAM Access Analyzer オペレーションについて説明します。IAM Access Analyzer の一般的な情報については、「」を参照してください。 [AWS Identity and Access Management Access Analyzer 「」](#) (IAM ユーザーガイド) を参照してください。

このドキュメントは、2024 年 9 月 23 日に最後に公開されました。

# アクション

以下のアクションがサポートされています:

- [ApplyArchiveRule](#)
- [CancelPolicyGeneration](#)
- [CheckAccessNotGranted](#)
- [CheckNoNewAccess](#)
- [CheckNoPublicAccess](#)
- [CreateAccessPreview](#)
- [CreateAnalyzer](#)
- [CreateArchiveRule](#)
- [DeleteAnalyzer](#)
- [DeleteArchiveRule](#)
- [GenerateFindingRecommendation](#)
- [GetAccessPreview](#)
- [GetAnalyzedResource](#)
- [GetAnalyzer](#)
- [GetArchiveRule](#)
- [GetFinding](#)
- [GetFindingRecommendation](#)
- [GetFindingV2](#)
- [GetGeneratedPolicy](#)
- [ListAccessPreviewFindings](#)
- [ListAccessPreviews](#)
- [ListAnalyzedResources](#)
- [ListAnalyzers](#)
- [ListArchiveRules](#)
- [ListFindings](#)
- [ListFindingsV2](#)
- [ListPolicyGenerations](#)

- [ListTagsForResource](#)
- [StartPolicyGeneration](#)
- [StartResourceScan](#)
- [TagResource](#)
- [UntagResource](#)
- [UpdateArchiveRule](#)
- [UpdateFindings](#)
- [ValidatePolicy](#)

# ApplyArchiveRule

アーカイブルール基準を満たす既存の結果にアーカイブルールを遡及的に適用します。

## リクエストの構文

```
PUT /archive-rule HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "clientToken": "string",
  "ruleName": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### [analyzerArn](#)

アナライザーの Amazon リソースネーム (ARN)。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### [clientToken](#)

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### [ruleName](#)

適用するルールの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# CancelPolicyGeneration

要求されたポリシー生成をキャンセルします。

## リクエストの構文

```
PUT /policy/generation/jobId HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### jobId

JobIdStartPolicyGenerationこれは操作によって返されます。GetGeneratedPolicyと併用して生成されたポリシーを取得したり、CancelPolicyGenerationと併用してポリシー生成要求をキャンセルしたりできます。JobId

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。



HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# CheckAccessNotGranted

指定されたアクセスがポリシーによって許可されていないかどうかを確認します。

## リクエストの構文

```
POST /policy/check-access-not-granted HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "access": [
    {
      "actions": [ "string" ],
      "resources": [ "string" ]
    }
  ],
  "policyDocument": "string",
  "policyType": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### access

指定されたポリシーによって付与されるべきではないアクセス許可を含むアクセスオブジェクト。アクションのみが指定されている場合、IAM Access Analyzer は、ポリシー内の任意のリソースに対して少なくとも 1 つのアクションを実行するためのアクセスをチェックします。リソースのみが指定されている場合、IAM Access Analyzer はアクセスをチェックして、少なくとも 1 つのリソースに対してアクションを実行します。アクションとリソースの両方が指定されている場合、IAM Access Analyzer は、指定されたリソースの少なくとも 1 つに対して指定されたアクションの少なくとも 1 つを実行するアクセスをチェックします。

タイプ: [Access](#) オブジェクトの配列

配列メンバー: 最小数は 0 項目です。最大数は 1 項目です。

必須: はい

### [policyDocument](#)

ポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

型: 文字列

必須: はい

### [policyType](#)

ポリシーのタイプ。ID ポリシーは、IAM プリンシパルにアクセス許可を付与します。ID ポリシーには、IAM ロール、ユーザー、グループの管理ポリシーとインラインポリシーが含まれます。

リソースポリシーは、AWS リソースに対するアクセス許可を付与します。リソースポリシーには、IAM ロールの信頼ポリシーと Amazon S3 バケットのバケットポリシーが含まれます。

型: 文字列

有効な値: IDENTITY\_POLICY | RESOURCE\_POLICY

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "message": "string",
  "reasons": [
    {
      "description": "string",
      "statementId": "string",
      "statementIndex": number
    }
  ],
  "result": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [message](#)

指定されたアクセスが許可されているかどうかを示すメッセージ。

型: 文字列

### [reasons](#)

結果の推論の説明。

型: [ReasonSummary](#) オブジェクトの配列

### [result](#)

アクセスが許可されているかどうかのチェックの結果。結果が `PASS`、指定されたポリシーはアクセスオブジェクトで指定されたアクセス許可を許可しません。結果が `FAIL`、指定されたポリシーはアクセスオブジェクトのアクセス許可の一部またはすべてを許可する場合があります。

型: 文字列

有効な値 : `PASS` | `FAIL`

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### `AccessDeniedException`

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### `InternalServerError`

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

## InvalidParameterException

指定されたパラメータが無効です。

HTTP ステータスコード : 400

## ThrottlingException

スロットリング制限の超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## UnprocessableEntityException

指定されたエンティティを処理できませんでした。

HTTP ステータスコード: 422

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

# CheckNoNewAccess

既存のポリシーと比較して、更新されたポリシーに対して新しいアクセスが許可されるかどうかをチェックします。

参照ポリシーの例や、新しいアクセスに対するカスタムポリシーチェックの設定と実行方法については、[IAM Access Analyzer のカスタムポリシーチェックサンプルリポジトリを参照してください](#)。GitHubこのリポジトリ内の参照ポリシーは、existingPolicyDocumentリクエストパラメータに渡すためのものです。

## リクエストの構文

```
POST /policy/check-no-new-access HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "existingPolicyDocument": "string",
  "newPolicyDocument": "string",
  "policyType": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### [existingPolicyDocument](#)

既存のポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

型: 文字列

必須: はい

### [newPolicyDocument](#)

更新されたポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

型: 文字列

必須: はい

### [policyType](#)

比較するポリシーのタイプ。ID ポリシーは IAM プリンシパルにアクセス権限を付与します。ID ポリシーには、IAM ロール、ユーザー、グループの管理ポリシーとインラインポリシーが含まれます。

リソースポリシーは、AWS リソースに対するアクセス権限を付与します。リソースポリシーには、IAM ロールの信頼ポリシーと Amazon S3 バケットのバケットポリシーが含まれます。ID ポリシーやリソースポリシーなどの一般的な入力、または管理ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーなどの特定の入力を指定できます。

型: 文字列

有効な値 : IDENTITY\_POLICY | RESOURCE\_POLICY

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "message": "string",
  "reasons": [
    {
      "description": "string",
      "statementId": "string",
      "statementIndex": number
    }
  ],
  "result": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

## [message](#)

更新されたポリシーが新しいアクセスを許可するかどうかを示すメッセージ。

型: 文字列

## [reasons](#)

結果の理由の説明。

型: [ReasonSummary](#) オブジェクトの配列

## [result](#)

新規アクセスの確認結果。結果が「はい」の場合PASS、更新されたポリシーでは新しいアクセスは許可されません。その場合FAIL、更新されたポリシーによって新しいアクセスが許可される可能性があります。

型: 文字列

有効な値 : PASS | FAIL

# エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

## InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

## InvalidParameterException

指定されたパラメータは無効です。

HTTP ステータスコード : 400



## ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## UnprocessableEntityException

指定されたエンティティは処理できませんでした。

HTTP ステータスコード:422

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# CheckNoPublicAccess

リソースポリシーが、指定されたリソースタイプへのパブリックアクセスを許可できるかどうかをチェックします。

## リクエストの構文

```
POST /policy/check-no-public-access HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "policyDocument": "string",
  "resourceType": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### [policyDocument](#)

パブリックアクセスを評価する JSON ポリシードキュメント。

型: 文字列

必須: はい

### [resourceType](#)

パブリックアクセスを評価するリソースのタイプ。例えば、Amazon S3 バケットへのパブリックアクセスをチェックするには、リソースタイプ `AWS::S3::Bucket` に選択できます。

有効な値としてサポートされていないリソースタイプの場合、IAM Access Analyzer はエラーを返します。

型: 文字列

有効な値 : `AWS::DynamoDB::Table` | `AWS::DynamoDB::Stream` |  
`AWS::EFS::FileSystem` | `AWS::OpenSearchService::Domain` |

AWS::Kinesis::Stream | AWS::Kinesis::StreamConsumer | AWS::KMS::Key  
| AWS::Lambda::Function | AWS::S3::Bucket | AWS::S3::AccessPoint  
| AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::S3::Glacier |  
AWS::S3Outposts::Bucket | AWS::S3Outposts::AccessPoint |  
AWS::SecretsManager::Secret | AWS::SNS::Topic | AWS::SQS::Queue |  
AWS::IAM::AssumeRolePolicyDocument

必須 : はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "message": "string",
  "reasons": [
    {
      "description": "string",
      "statementId": "string",
      "statementIndex": number
    }
  ],
  "result": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [message](#)

指定されたポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可するかどうかを示すメッセージ。

型: 文字列

### [reasons](#)

指定されたリソースポリシーがリソースタイプのパブリックアクセスを許可する理由のリスト。

型: [ReasonSummary](#) オブジェクトの配列

## [result](#)

指定されたリソースタイプへのパブリックアクセスをチェックした結果。結果が `PASS`、ポリシーは指定されたリソースタイプへのパブリックアクセスを許可しません。結果が `FAIL`、ポリシーは指定されたリソースタイプへのパブリックアクセスを許可する場合があります。

型: 文字列

有効な値 : `PASS` | `FAIL`

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### `AccessDeniedException`

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### `InternalServerError`

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### `InvalidParameterException`

指定されたパラメータが無効です。

HTTP ステータスコード : 400

### `ThrottlingException`

スロットリング制限の超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### `UnprocessableEntityException`

指定されたエンティティを処理できませんでした。

HTTP ステータスコード: 422

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

# CreateAccessPreview

リソース権限をデプロイする前に、リソースの IAM Access Analyzer の結果をプレビューできるアクセスプレビューを作成します。

## リクエストの構文

```
PUT /access-preview HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string",
  "clientToken": "string",
  "configurations": {
    "string" : { ... }
  }
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### analyzerArn

[アクセスプレビューの生成に使用されたアカウントアナライザーの ARN](#)。タイプとステータスのあるアナライザーのアクセスプレビューのみを作成できます。Account Active

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### clientToken

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## [configurations](#)

アクセスプレビューの生成に使用されるリソースのアクセス制御設定。アクセスプレビューには、提案されたアクセス制御設定でリソースに許可された外部アクセスに関する結果が含まれます。構成には要素が 1 つだけ含まれている必要があります。

タイプ: [Configuration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "id": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [id](#)

アクセスプレビューのユニーク ID。

型: 文字列

パターン: [a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

ConflictException

コンフリクト例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ServiceQuotaExceededException

サービスクォートミートエラー。

HTTP ステータスコード: 402

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)



- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# CreateAnalyzer

アカウントのアナライザーを作成します。

## リクエストの構文

```
PUT /analyzer HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerName": "string",
  "archiveRules": [
    {
      "filter": {
        "string": {
          "contains": [ "string" ],
          "eq": [ "string" ],
          "exists": boolean,
          "neq": [ "string" ]
        }
      },
      "ruleName": "string"
    }
  ],
  "clientToken": "string",
  "configuration": { ... },
  "tags": {
    "string": "string"
  },
  "type": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

## analyzerName

作成するアナライザーの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須: はい

## archiveRules

アナライザー用に追加するアーカイブルールを指定します。アーカイブルールは、ルールに定義した条件を満たす結果を自動的にアーカイブします。

型: [InlineArchiveRule](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

## clientToken

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## configuration

アナライザーの設定を指定します。アナライザーが未使用のアクセスアナライザーの場合、指定された範囲の未使用アクセスが設定に使用されます。アナライザーが外部アクセスアナライザーの場合、このフィールドは使用されません。

タイプ: [AnalyzerConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

## tags

アナライザーに適用するキーと値のペアの配列。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

### type

作成するアナライザーのタイ

プ。ACCOUNT、ORGANIZATIONACCOUNT\_UNUSED\_ACCESS、ORGANIZATION\_UNUSED\_ACCESSおよびアナライザーのみがサポートされます。1つのアカウント、1つのリージョンにつき1つのアナライザーしか作成できません。1つの組織、1つのリージョンにつき最大5つのアナライザーを作成できます。

型: 文字列

有効な値 : ACCOUNT | ORGANIZATION | ACCOUNT\_UNUSED\_ACCESS | ORGANIZATION\_UNUSED\_ACCESS

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "arn": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### arn

リクエストによって作成されたアナライザーの ARN。

型: 文字列

パターン : `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### ConflictException

コンフリクト例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ServiceQuotaExceededException

サービスクォートミートエラー。

HTTP ステータスコード: 402

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# CreateArchiveRule

指定されたアナライザーのアーカイブルールを作成します。アーカイブルールは、ルールの作成時に定義した基準を満たす新しい結果を自動的にアーカイブします。

アーカイブルールの作成に使用できるフィルターキーについては、IAM ユーザーガイドの「[IAM Access Analyzer のフィルターキー](#)」を参照してください。

## リクエストの構文

```
PUT /analyzer/analyzerName/archive-rule HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "clientToken": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "ruleName": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [analyzerName](#)

作成したアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### [clientToken](#)

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### [filter](#)

ルールの基準。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

### [ruleName](#)

作成するルールの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。



## AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

## ConflictException

コンフリクト例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

## InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

## ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

## ServiceQuotaExceededException

サービスクォートミートエラー。

HTTP ステータスコード: 402

## ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# DeleteAnalyzer

指定されたアナライザーを削除します。アナライザーを削除すると、現在または特定のリージョンのアカウントまたは組織の IAM Access Analyzer は無効になります。アナライザーによって生成された検出結果はすべて削除されます。このアクションは元に戻すことができません。

## リクエストの構文

```
DELETE /analyzer/analyzerName?clientToken=clientToken HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [analyzerName](#)

削除するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須：はい

### [clientToken](#)

クライアントトークン。

## リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)

- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# DeleteArchiveRule

指定されたアーカイブルールを削除します。

## リクエストの構文

```
DELETE /analyzer/analyzerName/archive-rule/ruleName?clientToken=clientToken HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### analyzerName

削除するアーカイブルールに関連付けられているアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須：はい

### clientToken

クライアントトークン。

### ruleName

削除するルールの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)



# GenerateFindingRecommendation

未使用のアクセス許可の検出結果のレコメンデーションを作成します。

## リクエストの構文

```
POST /recommendation/id?analyzerArn=analyzerArn HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### analyzerArn

結果のレコメンデーションの生成に使用されるアナライザーの ARN。

パターン : `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須 : はい

### id

結果レコメンデーションの一意の ID。

長さの制限 : 最小長は 1 です。最大長は 2,048 です。

必須 : はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ThrottlingException

スロットリング制限の超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)

- [AWS SDK for Ruby V3](#)

# GetAccessPreview

指定されたアナライザーのアクセスプレビューに関する情報を取得します。

## リクエストの構文

```
GET /access-preview/accessPreviewId?analyzerArn=analyzerArn HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### accessPreviewId

アクセスプレビューのユニーク ID。

Pattern: [a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}

必須: はい

### analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用されたアナライザーの ARN。

Pattern: [^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:analyzer/.{1,255}

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "accessPreview": {
    "analyzerArn": "string",
```

```
  "configurations": {
    "string" : { ... }
  },
  "createdAt": "string",
  "id": "string",
  "status": "string",
  "statusReason": {
    "code": "string"
  }
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [accessPreview](#)

アクセスプレビューに関する情報を含むオブジェクト。

型: [AccessPreview](#) オブジェクト

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# GetAnalyzedResource

分析されたリソースに関する情報を取得します。

## リクエストの構文

```
GET /analyzed-resource?analyzerArn=analyzerArn&resourceArn=resourceArn HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [analyzerArn](#)

[情報を取得するアナライザーの ARN](#)。

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### [resourceArn](#)

情報を取得するリソースの ARN。

Pattern: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "resource": {
    "actions": [ "string" ],
    "analyzedAt": "string",
```

```
"createdAt": "string",  
"error": "string",  
"isPublic": boolean,  
"resourceArn": "string",  
"resourceOwnerAccount": "string",  
"resourceType": "string",  
"sharedVia": [ "string" ],  
"status": "string",  
"updatedAt": "string"  
}  
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### resource

IAM Access Analyzer AnalyzedResource がリソースを分析したときに検出した情報を含むオブジェクト。

型: [AnalyzedResource](#) オブジェクト

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。



HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK でこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# GetAnalyzer

指定されたアナライザーに関する情報を取得します。

## リクエストの構文

```
GET /analyzer/analyzerName HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### analyzerName

取得したアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzer": {
    "arn": "string",
    "configuration": { ... },
    "createdAt": "string",
    "lastResourceAnalyzed": "string",
    "lastResourceAnalyzedAt": "string",
    "name": "string",
    "status": "string",
```

```
  "statusReason": {
    "code": "string"
  },
  "tags": {
    "string" : "string"
  },
  "type": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [analyzer](#)

AnalyzerSummary アナライザーに関する情報を含むオブジェクト。

型: [AnalyzerSummary](#) オブジェクト

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

## ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# GetArchiveRule

アーカイブルールに関する情報を取得します。

アーカイブルールの作成に使用できるフィルターキーについては、IAM ユーザーガイドの「[IAM Access Analyzer のフィルターキー](#)」を参照してください。

## リクエストの構文

```
GET /analyzer/analyzerName/archive-rule/ruleName HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### analyzerName

ルールを取得するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_-.]\*

必須：はい

### ruleName

取得するルールの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_-.]\*

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

```
Content-type: application/json

{
  "archiveRule": {
    "createdAt": "string",
    "filter": {
      "string": {
        "contains": [ "string" ],
        "eq": [ "string" ],
        "exists": boolean,
        "neq": [ "string" ]
      }
    },
    "ruleName": "string",
    "updatedAt": "string"
  }
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [archiveRule](#)

アーカイブルールに関する情報が含まれます。

型: [ArchiveRuleSummary](#) オブジェクト

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# GetFinding

指定された結果に関する情報を取得します。GetFinding と GetFinding V2 はどちらも IAM access-analyzer:GetFinding Action ポリシーステートメントの要素で使います。アクションを実行するには権限が必要です。access-analyzer:GetFinding

## リクエストの構文

```
GET /finding/id?analyzerArn=analyzerArn HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使います。

### analyzerArn

結果を生成したアナライザーの ARN。

Pattern: [^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:analyzer/.{1,255}

必須: はい

### id

取得する結果の ID。

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "finding": {
    "action": [ "string" ],
    "analyzedAt": "string",
```



```
{
  "condition": {
    "string": "string"
  },
  "createdAt": "string",
  "error": "string",
  "id": "string",
  "isPublic": boolean,
  "principal": {
    "string": "string"
  },
  "resource": "string",
  "resourceOwnerAccount": "string",
  "resourceType": "string",
  "sources": [
    {
      "detail": {
        "accessPointAccount": "string",
        "accessPointArn": "string"
      },
      "type": "string"
    }
  ],
  "status": "string",
  "updatedAt": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [finding](#)

finding検索結果の詳細を含むオブジェクト。

型: [Finding](#) オブジェクト

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

## InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

## ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

## ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)

- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# GetFindingRecommendation

指定されたアナライザーの検出結果のレコメンデーションに関する情報を取得します。

## リクエストの構文

```
GET /recommendation/id?  
analyzerArn=analyzerArn&maxResults=maxResults&nextToken=nextToken HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [analyzerArn](#)

結果のレコメンデーションの生成に使用されるアナライザーの ARN。

パターン: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### [id](#)

結果レコメンデーションの一意の ID。

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 2,048 です。

必須: はい

### [maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

有効範囲: 最小値は 1 です。最大値は 1000 です。

### [nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

## リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "completedAt": "string",
  "error": {
    "code": "string",
    "message": "string"
  },
  "nextToken": "string",
  "recommendationType": "string",
  "recommendedSteps": [
    { ... }
  ],
  "resourceArn": "string",
  "startedAt": "string",
  "status": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [completedAt](#)

結果レコメンデーションの取得が完了した時刻。

型: タイムスタンプ

### [error](#)

結果のレコメンデーションの取得が失敗した理由に関する詳細情報。

タイプ: [RecommendationError](#) オブジェクト

### [nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

## recommendationType

結果のレコメンデーションのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : UnusedPermissionRecommendation

## recommendedSteps

検出結果に推奨されるステップのグループ。

型: [RecommendedStep](#) オブジェクトの配列

## resourceArn

結果のリソースの ARN。

型: 文字列

パターン : arn:[^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:.\*

## startedAt

結果レコメンデーションの取得が開始された時刻。

型: タイムスタンプ

## status

結果レコメンデーションの取得のステータス。

型: 文字列

有効な値 : SUCCEEDED | FAILED | IN\_PROGRESS

# エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

## InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

## ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

## ThrottlingException

スロットリング制限の超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Go v2](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for JavaScript V3](#)
- [AWS SDK for PHP V3](#)
- [AWS SDK for Python](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

# GetFindingV2

指定された結果に関する情報を取得します。GetFinding と GetFinding V2 はどちらも IAM access-analyzer:GetFinding Action ポリシーステートメントの要素で使われます。アクションを実行するには権限が必要です。access-analyzer:GetFinding

## リクエストの構文

```
GET /findingv2/id?analyzerArn=analyzerArn&maxResults=maxResults&nextToken=nextToken
HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使います。

### analyzerArn

結果を生成したアナライザーの ARN。

Pattern: [^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:[^:]\*:analyzer/.{1,255}

必須：はい

### id

取得する結果の ID。

必須: はい

### maxResults

レスポンスで返される結果の最大数。

### nextToken

返された結果をページ分割するために使われるトークン。

## リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。



## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzedAt": "string",
  "createdAt": "string",
  "error": "string",
  "findingDetails": [
    { ... }
  ],
  "findingType": "string",
  "id": "string",
  "nextToken": "string",
  "resource": "string",
  "resourceOwnerAccount": "string",
  "resourceType": "string",
  "status": "string",
  "updatedAt": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [analyzedAt](#)

結果を生成したリソースベースのポリシーまたは IAM エンティティが分析された日時。

型: タイムスタンプ

### [createdAt](#)

結果が作成された日時。

型: タイムスタンプ

### [error](#)

エラー。

型: 文字列

### [findingDetails](#)

検出結果を説明し、対処方法に関するガイダンスを提供するローカライズされたメッセージ。

型: [FindingDetails](#) オブジェクトの配列

### [findingType](#)

結果のタイプ。外部アクセスアナライザーの場合、タイプはです。ExternalAccess未使用のアクセスアナライザーの場合、タイプは、、、またはになります。UnusedIAMRole UnusedIAMUserAccessKey UnusedIAMUserPassword UnusedPermission

型: 文字列

有効な値 : ExternalAccess | UnusedIAMRole | UnusedIAMUserAccessKey | UnusedIAMUserPassword | UnusedPermission

### [id](#)

取得する結果の ID。

型: 文字列

### [nextToken](#)

返された結果のページ分割に使用されるトークン。

型: 文字列

### [resource](#)

結果を生成したリソース。

型: 文字列

### [resourceOwnerAccount](#)

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

### [resourceType](#)

結果で特定されたリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |  
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key  
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |  
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot  
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |  
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |  
AWS::DynamoDB::Stream

### status

調査結果のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

### updatedAt

結果が更新された日時。

型: タイムスタンプ

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

## ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# GetGeneratedPolicy

StartPolicyGenerationを使用して生成されたポリシーを取得します。

## リクエストの構文

```
GET /policy/generation/jobId?  
includeResourcePlaceholders=includeResourcePlaceholders&includeServiceLevelTemplate=includeServiceLevelTemplate  
HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [includeResourcePlaceholders](#)

生成したい詳細レベル。ポリシー内のリソースレベルの細分化をサポートするアクションのリソース ARN 用のプレースホルダーを使用してポリシーを生成するかどうかを指定できます。

たとえば、ポリシーのリソースセクションでは、の代わりになどのプレースホルダーを受け取ることができます。"Resource": "arn:aws:s3:::\${BucketName}" "\*"

### [includeServiceLevelTemplate](#)

生成したい詳細レベル。サービスレベルポリシーを生成するかどうかを指定できます。

IAM Access Analyzer はiam:serviceleastaccessed、このサービスレベルテンプレートの作成時に最近使用されたサービスを識別するために使用されます。

### [jobId](#)

JobIdこれはオペレーションによって返されま

す。StartPolicyGenerationGetGeneratedPolicyと併用して生成されたポリシーを取得したり、CancelPolicyGenerationと併用してポリシー生成要求をキャンセルしたりできます。JobId

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "generatedPolicyResult": {
    "generatedPolicies": [
      {
        "policy": "string"
      }
    ],
    "properties": {
      "cloudTrailProperties": {
        "endTime": "string",
        "startTime": "string",
        "trailProperties": [
          {
            "allRegions": boolean,
            "cloudTrailArn": "string",
            "regions": [ "string" ]
          }
        ]
      },
      "isComplete": boolean,
      "principalArn": "string"
    }
  },
  "jobDetails": {
    "completedOn": "string",
    "jobError": {
      "code": "string",
      "message": "string"
    },
    "jobId": "string",
    "startedOn": "string",
    "status": "string"
  }
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [generatedPolicyResult](#)

GeneratedPolicyResult 生成されたポリシーと関連する詳細を含むオブジェクト。

タイプ: [GeneratedPolicyResult](#) オブジェクト

### [jobDetails](#)

GeneratedPolicyDetails 生成されたポリシーに関する詳細を含むオブジェクト。

型: [JobDetails](#) オブジェクト

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)



# ListAccessPreviewFindings

指定されたアクセスプレビューによって生成されたアクセスプレビュー結果のリストを取得します。

## リクエストの構文

```
POST /access-preview/accessPreviewId HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [accessPreviewId](#)

アクセスプレビューのユニーク ID。

Pattern: [a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### [analyzerArn](#)

[アクセスの生成に使用されたアナライザーの ARN。](#)

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### [filter](#)

返された結果をフィルタリングする基準。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

### [maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

### [nextToken](#)

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "findings": [
    {
      "action": [ "string" ],
      "changeType": "string",
      "condition": {
        "string" : "string"
      },
    },
  ],
}
```

```
    "createdAt": "string",
    "error": "string",
    "existingFindingId": "string",
    "existingFindingStatus": "string",
    "id": "string",
    "isPublic": boolean,
    "principal": {
      "string" : "string"
    },
    "resource": "string",
    "resourceOwnerAccount": "string",
    "resourceType": "string",
    "sources": [
      {
        "detail": {
          "accessPointAccount": "string",
          "accessPointArn": "string"
        },
        "type": "string"
      }
    ],
    "status": "string"
  }
],
"nextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### findings

指定されたフィルター条件に一致するアクセスレビュー結果のリスト。

型: [AccessPreviewFinding](#) オブジェクトの配列

### nextToken

結果をページ分割するために使用されるトークンが返されました。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### ConflictException

コンフリクト例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)

- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ListAccessPreviews

指定されたアナライザーのアクセスプレビューのリストを取得します。

## リクエストの構文

```
GET /access-preview?analyzerArn=analyzerArn&maxResults=maxResults&nextToken=nextToken
HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [analyzerArn](#)

[アクセスプレビューの生成に使用されたアナライザーの ARN。](#)

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須：はい

### [maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

### [nextToken](#)

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

## リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "accessPreviews": [
    {
```

```
    "analyzerArn": "string",
    "createdAt": "string",
    "id": "string",
    "status": "string",
    "statusReason": {
      "code": "string"
    }
  },
  "nextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [accessPreviews](#)

アナライザー用に取得されたアクセスプレビューのリスト。

型: [AccessPreviewSummary](#) オブジェクトの配列

### [nextToken](#)

結果をページ分割するために使用されるトークンが返されました。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)



# ListAnalyzedResources

指定された外部アクセスアナライザによって分析された、指定されたタイプのリソースのリストを取得します。このアクションは、未使用のアクセスアナライザーではサポートされていません。

## リクエストの構文

```
POST /analyzed-resource HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string",
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string",
  "resourceType": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### [analyzerArn](#)

分析されたリソースのリストを取得するアナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### [maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

### [nextToken](#)

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### [resourceType](#)

リソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |  
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key  
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |  
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot  
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |  
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |  
AWS::DynamoDB::Stream

必須 : いいえ

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzedResources": [
    {
      "resourceArn": "string",
      "resourceOwnerAccount": "string",
      "resourceType": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [analyzedResources](#)

分析されたリソースのリスト。

型: [AnalyzedResourceSummary](#) オブジェクトの配列

### [nextToken](#)

結果をページ分割するために使用されるトークンが返されました。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ListAnalyzers

アナライザーのリストを取得します。

## リクエストの構文

```
GET /analyzer?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken&type=type HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

### [nextToken](#)

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

### [type](#)

アナライザーのタイプ。

有効な値 : ACCOUNT | ORGANIZATION | ACCOUNT\_UNUSED\_ACCESS |  
ORGANIZATION\_UNUSED\_ACCESS

## リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "analyzers": [
    {
      "arn": "string",
      "configuration": { ... },
```

```
    "createdAt": "string",
    "lastResourceAnalyzed": "string",
    "lastResourceAnalyzedAt": "string",
    "name": "string",
    "status": "string",
    "statusReason": {
      "code": "string"
    },
    "tags": {
      "string" : "string"
    },
    "type": "string"
  }
],
"nextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [analyzers](#)

取得したアナライザー。

型: [AnalyzerSummary](#) オブジェクトの配列

### [nextToken](#)

結果のページ分割に使用されるトークンが返されました。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ListArchiveRules

指定されたアナライザー用に作成されたアーカイブ規則のリストを取得します。

## リクエストの構文

```
GET /analyzer/analyzerName/archive-rule?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken  
HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### analyzerName

ルールを取得するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須：はい

### maxResults

リクエストで返される結果の最大数。

### nextToken

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

## リクエスト本文

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200  
Content-type: application/json  
  
{
```



```
"archiveRules": [
  {
    "createdAt": "string",
    "filter": {
      "string": {
        "contains": [ "string" ],
        "eq": [ "string" ],
        "exists": boolean,
        "neq": [ "string" ]
      }
    },
    "ruleName": "string",
    "updatedAt": "string"
  }
],
"nextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [archiveRules](#)

指定したアナライザー用に作成されたアーカイブルールの一覧。

型: [ArchiveRuleSummary](#) オブジェクトの配列

### [nextToken](#)

結果をページ分割するために使用されるトークンが返されました。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード: 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ListFindings

指定されたアナライザーによって生成された結果のリストを取得します。ListFindings と ListFindings V2 はどちらも IAM access-analyzer:ListFindings Action ポリシーステートメントの要素で使用されます。アクションを実行するには権限が必要です。access-analyzer:ListFindings

結果のリストを取得するために使用できるフィルターキーについては、IAM ユーザーガイドの「[IAM Access Analyzer のフィルターキー](#)」を参照してください。

## リクエストの構文

```
POST /finding HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string",
  "sort": {
    "attributeName": "string",
    "orderBy": "string"
  }
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

## [analyzerArn](#)

[結果を取得するアナライザーの ARN。](#)

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

## [filter](#)

検索結果を照合して返すフィルター。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

## [maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

## [nextToken](#)

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## [sort](#)

返された結果のソート順序。

タイプ: [SortCriteria](#) オブジェクト

必須: いいえ

## レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

Content-type: application/json

```
{
  "findings": [
    {
      "action": [ "string" ],
      "analyzedAt": "string",
      "condition": {
        "string" : "string"
      },
      "createdAt": "string",
      "error": "string",
      "id": "string",
      "isPublic": boolean,
      "principal": {
        "string" : "string"
      },
      "resource": "string",
      "resourceOwnerAccount": "string",
      "resourceType": "string",
      "sources": [
        {
          "detail": {
            "accessPointAccount": "string",
            "accessPointArn": "string"
          },
          "type": "string"
        }
      ],
      "status": "string",
      "updatedAt": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

## [findings](#)

アナライザーから取得され、指定されたフィルター条件に一致する結果のリスト (存在する場合)。

型: [FindingSummary](#) オブジェクトの配列

## [nextToken](#)

結果をページ分割するために使用されるトークンが返されました。

型: 文字列

# エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

## InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

## ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

## ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

## ListFindingsV2

指定されたアナライザーによって生成された結果のリストを取得します。ListFindings と ListFindings V2 はどちらも IAM access-analyzer:ListFindings Action ポリシーステートメントの要素で使用されます。アクションを実行するには権限が必要です。access-analyzer:ListFindings

結果のリストを取得するために使用できるフィルターキーについては、IAM ユーザーガイドの「[IAM Access Analyzer のフィルターキー](#)」を参照してください。

### リクエストの構文

```
POST /findingv2 HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  },
  "maxResults": number,
  "nextToken": "string",
  "sort": {
    "attributeName": "string",
    "orderBy": "string"
  }
}
```

### URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

### リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。



## [analyzerArn](#)

[結果を取得するアナライザーの ARN。](#)

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

## [filter](#)

検索結果を照合して返すフィルター。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

## [maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

タイプ: 整数

必須: いいえ

## [nextToken](#)

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## [sort](#)

ソートに使用される基準。

タイプ: [SortCriteria](#) オブジェクト

必須: いいえ

## レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

Content-type: application/json

```
{
  "findings": [
    {
      "analyzedAt": "string",
      "createdAt": "string",
      "error": "string",
      "findingType": "string",
      "id": "string",
      "resource": "string",
      "resourceOwnerAccount": "string",
      "resourceType": "string",
      "status": "string",
      "updatedAt": "string"
    }
  ],
  "nextToken": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [findings](#)

アナライザーから取得され、指定されたフィルター条件に一致する結果のリスト (存在する場合)。

型: [FindingSummaryV2](#) オブジェクトの配列

### [nextToken](#)

結果をページ分割するために使用されるトークンが返されました。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

## InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

## ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

## ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK でこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)

- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ListPolicyGenerations

過去 7 日間に要求されたすべてのポリシー生成を一覧表示します。

## リクエストの構文

```
GET /policy/generation?  
maxResults=maxResults&nextToken=nextToken&principalArn=principalArn HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [maxResults](#)

レスポンスで返される結果の最大数。

有効範囲: 最小値 は 1 です。

### [nextToken](#)

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

### [principalArn](#)

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。これと併用するとListGeneratedPolicies、特定のプリンシパルの結果のみを含むように結果をフィルタリングできます。

Pattern: arn:[^:]\*:iam::[^:]\*:(role|user)/.{1,576}

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200  
Content-type: application/json  
  
{
```

```
{
  "nextToken": "string",
  "policyGenerations": [
    {
      "completedOn": "string",
      "jobId": "string",
      "principalArn": "string",
      "startedOn": "string",
      "status": "string"
    }
  ]
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [nextToken](#)

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

型: 文字列

### [policyGenerations](#)

PolicyGeneration生成されたポリシーに関する詳細を含むオブジェクト。

型: [PolicyGeneration](#) オブジェクトの配列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ListTagsForResource

指定されたリソースに適用されているタグのリストを取得します。

## リクエストの構文

```
GET /tags/resourceArn HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### resourceArn

タグを取得するリソースの ARN。

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json

{
  "tags": {
    "string" : "string"
  }
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。



## [tags](#)

指定されたリソースに適用されるタグ。

型: 文字列間のマッピング

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# StartPolicyGeneration

ポリシー生成リクエストを開始します。

## リクエストの構文

```
PUT /policy/generation HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "clientToken": "string",
  "cloudTrailDetails": {
    "accessRole": "string",
    "endTime": "string",
    "startTime": "string",
    "trails": [
      {
        "allRegions": boolean,
        "cloudTrailArn": "string",
        "regions": [ "string" ]
      }
    ]
  },
  "policyGenerationDetails": {
    "principalArn": "string"
  }
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### clientToken

リクエストの冪等性のために割り当てて一意の識別子 (大文字と小文字を区別)。冪等性 は、API リクエストが 1 回だけ完了することを保証します。同一の要求では、元のリクエストが正常に完了すると、同じクライアントトークンを使用してそれ以降に再試行すると、元の成功したリクエストの結果が返され、それ以上の影響はありません。

クライアントトークンを指定しない場合、SDK によって自動的に生成されます。AWS

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### [cloudTrailDetails](#)

CloudTrailDetailsポリシーを生成するために分析したい詳細を含むオブジェクト。Trail

タイプ: [CloudTrailDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

### [policyGenerationDetails](#)

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN が含まれます。

型: [PolicyGenerationDetails](#) オブジェクト

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
Content-type: application/json
```

```
{
  "jobId": "string"
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [jobId](#)

JobIdこれはオペレーションによって返されま

す。StartPolicyGenerationGetGeneratedPolicyと併用して生成されたポリシーを取得

したり、CancelPolicyGenerationと併用してポリシー生成要求をキャンセルしたりできます。JobId

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### ConflictException

コンフリクト例外エラー。

HTTP ステータスコード: 409

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ServiceQuotaExceededException

サービスクォータミートエラー。

HTTP ステータスコード: 402

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# StartResourceScan

指定されたリソースに適用されているポリシーのスキャンをすぐに開始します。

## リクエストの構文

```
POST /resource/scan HTTP/1.1
Content-type: application/json

{
  "analyzerArn": "string",
  "resourceArn": "string",
  "resourceOwnerAccount": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### [analyzerArn](#)

指定されたリソースに適用されるポリシーのスキャンに使用するアナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### [resourceArn](#)

スキャンするリソースの ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: はい

## resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。AWS ほとんどのリソースでは、所有アカウントはリソースが作成されたアカウントです。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード: 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。



HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# TagResource

指定されたリソースにタグを追加します。

## リクエストの構文

```
POST /tags/resourceArn HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "tags": {
    "string" : "string"
  }
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### resourceArn

タグを追加するリソースの ARN。

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### tags

リソースに追加するタグ。

型: 文字列間のマッピング

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK でこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# UntagResource

指定されたリソースからタグを削除します。

## リクエストの構文

```
DELETE /tags/resourceArn?tagKeys=tagKeys HTTP/1.1
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [resourceArn](#)

タグを削除するリソースの ARN。

必須: はい

### [tagKeys](#)

追加するタグのキー。

必須: はい

## リクエストボディ

リクエストにリクエスト本文がありません。

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

## InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

## ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

## ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)

- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# UpdateArchiveRule

指定したアーカイブルール の条件と値を更新します。

## リクエストの構文

```
PUT /analyzer/analyzerName/archive-rule/ruleName HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "clientToken": "string",
  "filter": {
    "string" : {
      "contains": [ "string" ],
      "eq": [ "string" ],
      "exists": boolean,
      "neq": [ "string" ]
    }
  }
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### [analyzerName](#)

アーカイブルールを更新するアナライザーの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須：はい

### [ruleName](#)

更新するルールの名前。

長さの制限：最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*



必須: はい

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### [clientToken](#)

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### [filter](#)

更新するルールにマッチするフィルター。フィルターに一致するルールのみが更新されます。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

## レスポンスの構文

```
HTTP/1.1 200
```

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# UpdateFindings

指定された結果のステータスを更新します。

## リクエストの構文

```
PUT /finding HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "analyzerArn": "string",
  "clientToken": "string",
  "ids": [ "string" ],
  "resourceArn": "string",
  "status": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは URI パラメータを使用しません。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### [analyzerArn](#)

更新する結果を生成したアナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### [clientToken](#)

クライアントトークン。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## ids

更新する結果の ID。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

## resourceArn

結果で特定されたリソースの ARN。

型: 文字列

パターン: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: いいえ

## status

状態は、結果の Status を更新するために実行するアクションを表します。ARCHIVEアクティブな結果をアーカイブ済みの結果に変更する場合に使用します。ACTIVEアーカイブされた結果をアクティブな結果に変更する場合に使用します。

型: 文字列

有効な値: ACTIVE | ARCHIVED

必須: はい

## レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

## レスポンス要素

アクションが成功した場合、サービスは空の HTTP 本文を持つ HTTP 200 レスポンスを返します。

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

## AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

## InternalServerErrorException

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

## ResourceNotFoundException

指定したリソースが見つかりませんでした。

HTTP ステータスコード: 404

## ThrottlingException

スロットリング制限がエラーを超えました。

HTTP ステータスコード: 429

## ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)

- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ValidatePolicy

ポリシーの検証を要求し、結果のリストを返します。調査結果は、問題を特定し、問題を解決するための実用的な推奨事項を提供するのに役立ちます。また、セキュリティのベストプラクティスを満たす機能的なポリシーを作成できるようになります。

## リクエストの構文

```
POST /policy/validation?maxResults=maxResults&nextToken=nextToken HTTP/1.1
Content-type: application/json
```

```
{
  "locale": "string",
  "policyDocument": "string",
  "policyType": "string",
  "validatePolicyResourceType": "string"
}
```

## URI リクエストパラメータ

リクエストでは、次の URI パラメータを使用します。

### maxResults

レスポンスで返される結果の最大数。

### nextToken

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

## リクエストボディ

リクエストは以下の JSON 形式のデータを受け入れます。

### locale

結果のローカライズに使用するロケール。

型: 文字列

有効な値 : DE | EN | ES | FR | IT | JA | KO | PT\_BR | ZH\_CN | ZH\_TW

必須: いいえ

### [policyDocument](#)

ポリシーのコンテンツとして使用する JSON ポリシードキュメント。

型: 文字列

必須: はい

### [policyType](#)

検証するポリシーのタイプ。ID ポリシーは IAM プリンシパルにアクセス権限を付与します。ID ポリシーには、IAM ロール、ユーザー、グループの管理ポリシーとインラインポリシーが含まれます。

リソースポリシーは、AWS リソースに対するアクセス権限を付与します。リソースポリシーには、IAM ロールの信頼ポリシーと Amazon S3 バケットのバケットポリシーが含まれます。ID ポリシーやリソースポリシーなどの一般的な入力、または管理ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーなどの特定の入力を指定できます。

サービスコントロールポリシー (SCP) は、組織、組織単位 (OU)、またはアカウントに添付される組織ポリシーの一種です。AWS

型: 文字列

有効な値: IDENTITY\_POLICY | RESOURCE\_POLICY | SERVICE\_CONTROL\_POLICY

必須: はい

### [validatePolicyResourceType](#)

リソースポリシーに添付するリソースのタイプ。ポリシー検証リソースタイプの値は、RESOURCE\_POLICY ポリシータイプがの場合にのみ指定してください。たとえば、Amazon S3 バケットにアタッチするリソースポリシーを検証するには、ポリシー検証リソースタイプを選択できます `AWS::S3::Bucket`。

有効な値としてサポートされていないリソースタイプについては、IAM Access Analyzer はすべてのリソースポリシーに適用されるポリシーチェックを実行します。たとえば、KMS キーにアタッチするリソースポリシーを検証する場合、ポリシー検証リソースタイプに値を指定しないでください。IAM Access Analyzer はすべてのリソースポリシーに適用されるポリシーチェックを実行します。



型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::S3::AccessPoint |  
AWS::S3::MultiRegionAccessPoint | AWS::S3ObjectLambda::AccessPoint |  
AWS::IAM::AssumeRolePolicyDocument | AWS::DynamoDB::Table

必須 : いいえ

## レスポンスの構文

HTTP/1.1 200

Content-type: application/json

```
{
  "findings": [
    {
      "findingDetails": "string",
      "findingType": "string",
      "issueCode": "string",
      "learnMoreLink": "string",
      "locations": [
        {
          "path": [
            { ... }
          ],
          "span": {
            "end": {
              "column": number,
              "line": number,
              "offset": number
            },
            "start": {
              "column": number,
              "line": number,
              "offset": number
            }
          }
        }
      ]
    }
  ],
  "nextToken": "string"
```

```
}
```

## レスポンス要素

アクションが成功すると、サービスは HTTP 200 レスポンスを返します。

サービスから以下のデータが JSON 形式で返されます。

### [findings](#)

IAM Access Analyzer が一連のポリシーチェックに基づいて返すポリシー内の結果のリスト。

型: [ValidatePolicyFinding](#) オブジェクトの配列

### [nextToken](#)

返された結果をページ分割するために使用されるトークン。

型: 文字列

## エラー

すべてのアクションに共通のエラーについては、「[共通エラー](#)」を参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権限がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalServerError

内部サーバーエラー。

HTTP ステータスコード : 500

### ThrottlingException

スロットリング制限超過エラー。

HTTP ステータスコード: 429

### ValidationException

検証例外エラー。

HTTP ステータスコード : 400

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS コマンドラインインターフェイス](#)
- [AWS SDK for .NET](#)
- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Go バージョン 2 用 SDK](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS V3 用 JavaScript SDK](#)
- [AWS PHP V3 用 SDK](#)
- [AWS Python 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# データ型

IAM Access Analyzer API には、さまざまなアクションが使用する複数のデータ型が含まれています。このセクションでは、各データ型について詳しく説明します。

## Note

データ型構造内の各要素の順序は保証されません。アプリケーションは特定の順序を想定するべきではありません。

以下のデータ型 (タイプ) がサポートされています。

- [Access](#)
- [AccessPreview](#)
- [AccessPreviewFinding](#)
- [AccessPreviewStatusReason](#)
- [AccessPreviewSummary](#)
- [AclGrantee](#)
- [AnalyzedResource](#)
- [AnalyzedResourceSummary](#)
- [AnalyzerConfiguration](#)
- [AnalyzerSummary](#)
- [ArchiveRuleSummary](#)
- [CloudTrailDetails](#)
- [CloudTrailProperties](#)
- [Configuration](#)
- [Criterion](#)
- [DynamodbStreamConfiguration](#)
- [DynamodbTableConfiguration](#)
- [EbsSnapshotConfiguration](#)
- [EcrRepositoryConfiguration](#)
- [EfsFileSystemConfiguration](#)

- [ExternalAccessDetails](#)
- [Finding](#)
- [FindingDetails](#)
- [FindingSource](#)
- [FindingSourceDetail](#)
- [FindingSummary](#)
- [FindingSummaryV2](#)
- [GeneratedPolicy](#)
- [GeneratedPolicyProperties](#)
- [GeneratedPolicyResult](#)
- [IamRoleConfiguration](#)
- [InlineArchiveRule](#)
- [InternetConfiguration](#)
- [JobDetails](#)
- [JobError](#)
- [KmsGrantConfiguration](#)
- [KmsGrantConstraints](#)
- [KmsKeyConfiguration](#)
- [Location](#)
- [NetworkOriginConfiguration](#)
- [PathElement](#)
- [PolicyGeneration](#)
- [PolicyGenerationDetails](#)
- [Position](#)
- [RdsDbClusterSnapshotAttributeValue](#)
- [RdsDbClusterSnapshotConfiguration](#)
- [RdsDbSnapshotAttributeValue](#)
- [RdsDbSnapshotConfiguration](#)
- [ReasonSummary](#)
- [RecommendationError](#)

- [RecommendedStep](#)
- [S3AccessPointConfiguration](#)
- [S3BucketAclGrantConfiguration](#)
- [S3BucketConfiguration](#)
- [S3ExpressDirectoryBucketConfiguration](#)
- [S3PublicAccessBlockConfiguration](#)
- [SecretsManagerSecretConfiguration](#)
- [SnsTopicConfiguration](#)
- [SortCriteria](#)
- [Span](#)
- [SqsQueueConfiguration](#)
- [StatusReason](#)
- [Substring](#)
- [Trail](#)
- [TrailProperties](#)
- [UnusedAccessConfiguration](#)
- [UnusedAction](#)
- [UnusedIamRoleDetails](#)
- [UnusedIamUserAccessKeyDetails](#)
- [UnusedIamUserPasswordDetails](#)
- [UnusedPermissionDetails](#)
- [UnusedPermissionsRecommendedStep](#)
- [ValidatePolicyFinding](#)
- [ValidationExceptionField](#)
- [VpcConfiguration](#)

# Access

ポリシーに対してチェックするアクセス許可を定義するアクションとリソースに関する情報が含まれています。

## 内容

### actions

アクセス許可のアクションのリスト。IAM ポリシーでアクションとして使用できる文字列は、チェックするアクションのリストで使用できます。

タイプ：文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 0 項目です。最大数は 100 項目です。

必須：いいえ

### resources

アクセス許可のリソースのリスト。IAM ポリシーで Amazon リソースネーム (ARN) として使用できる文字列は、チェックするリソースのリストで使用できます。ワイルドカードは、リソース ID を指定する ARN の 部分でのみ使用できます。

タイプ：文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 0 項目です。最大数は 100 項目です。

長さの制限: 最小長は 0 です。最大長は 2048 です。

必須：いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)





# AccessPreview

アクセスプレビューに関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用されたアナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### configurations

提案されたリソース構成のリソース ARN のマップ。

タイプ: [Configuration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

### createdAt

アクセスプレビューが作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### id

アクセスプレビューのユニーク ID。

型: 文字列

Pattern: `[a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}`

必須: はい

### status

アクセスプレビューのステータス。

- Creating-アクセスプレビューの作成が進行中です。
- Completed-アクセスプレビューが完了しました。リソースへの外部アクセスの結果をプレビューできます。
- Failed-アクセスプレビューの作成に失敗しました。

型: 文字列

有効な値 : COMPLETED | CREATING | FAILED

必須: はい

statusReason

アクセスプレビューの現在のステータスに関する詳細が表示されます。

たとえば、アクセスプレビューの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。この失敗は、分析に関する内部的な問題か、無効なリソース構成が原因である可能性があります。

タイプ : [AccessPreviewStatusReason](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# AccessPreviewFinding

アクセスプレビューによって生成されたアクセスプレビュー結果。

## コンテンツ

### changeType

アクセスプレビューの結果と IAM Access Analyzer で識別された既存のアクセスとの比較に関するコンテキストを提供します。

- New-この結果は新しく導入されたアクセスに関するものです。
- Unchanged-プレビューの結果は、変更されない既存の結果です。
- Changed-プレビュー結果とは、ステータスが変化した既存の結果です。

たとえば、「プレビューステータス」Resolved と「Active 既存ステータス」を含む結果であれば、Active 既存の結果は提案された権限変更の結果であることがわかります。Changed Resolved

型: 文字列

有効な値 : CHANGED | NEW | UNCHANGED

必須: はい

### createdAt

アクセスプレビュー結果が作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### id

アクセスプレビュー結果の ID。この ID は、アクセスプレビュー結果のリスト内の要素を一意に識別するもので、Access Analyzer の検索結果 ID とは関係ありません。

型: 文字列

必須: はい

## resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。AWS ほとんどのリソースでは、所有アカウントはリソースが作成されたアカウントです。

型: 文字列

必須: はい

## resourceType

結果からアクセスできるリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |  
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key  
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |  
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot  
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |  
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |  
AWS::DynamoDB::Stream

必須: はい

## status

結果のプレビューステータス。権限が配布された後の結果のステータスは次のとおりです。たとえば、「プレビューステータス」Resolvedと「Active既存ステータス」を含む結果であれば、Active既存の結果は提案された権限変更の結果であることがわかります。Changed Resolved

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

## action

分析されたポリシーステートメントのうち、外部のプリンシパルが実行権限を持っているアクション。

タイプ : 文字列の配列

必須: いいえ

condition

分析対象となったポリシーステートメントの条件です。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

error

エラー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

existingFindingId

IAM Access Analyzer 内の結果の既存の ID。既存の結果にのみ提供されています。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

existingFindingStatus

結果の現在のステータス。既存の結果にのみ表示されます。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須 : いいえ

isPublic

調査結果を生成したポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可しているかどうかを示します。

型: ブール値

必須: いいえ

principal

トラストゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

#### resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。これはアクセスプレビューに関連するリソースです。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

#### sources

調査結果の情報源。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

型: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# AccessPreviewStatusReason

アクセスプレビューの現在のステータスに関する詳細が表示されます。たとえば、アクセスプレビューの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。この失敗は、分析に関する内部的な問題か、提案されたリソース構成が無効であることが原因である可能性があります。

## コンテンツ

code

アクセスプレビューの現在のステータスの理由コード。

型: 文字列

有効な値: INTERNAL\_ERROR | INVALID\_CONFIGURATION

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# AccessPreviewSummary

アクセスプレビューに関する情報の概要が含まれます。

## コンテンツ

### analyzerArn

アクセスプレビューの生成に使用されたアナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

### createdAt

アクセスプレビューが作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### id

アクセスプレビューのユニーク ID。

型: 文字列

Pattern: `[a-f0-9]{8}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{4}-[a-f0-9]{12}`

必須: はい

### status

アクセスプレビューのステータス。

- **Creating**-アクセスプレビューの作成が進行中です。
- **Completed**-アクセスプレビューが完了し、リソースへの外部アクセスの結果がプレビューされます。
- **Failed**-アクセスプレビューの作成に失敗しました。

型: 文字列



有効な値 : COMPLETED | CREATING | FAILED

必須: はい

statusReason

アクセスプレビューの現在のステータスに関する詳細が表示されます。たとえば、アクセスプレビューの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。この失敗は、分析に関する内部的な問題か、提案されたリソース構成が無効であることが原因である可能性があります。

タイプ : [AccessPreviewStatusReason](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# AclGrantee

これらのタイプのいずれかを使用して、各被付与者をタイプと値のペアとして指定します。被付与者のタイプは 1 つだけ指定できます。詳細については、[を参照してください](#) [PutBucketAcl](#)。

## コンテンツ

### Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

id

指定された値は、の正規ユーザ ID です。AWS アカウント

タイプ: 文字列

必須: いいえ

uri

定義済みのグループに権限を付与するために使用されます。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# AnalyzedResource

分析されたリソースに関する詳細が含まれます。

## コンテンツ

### analyzedAt

リソースが分析された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### createdAt

結果が作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### isPublic

結果を生成したポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可しているかどうかを示します。

型: ブール値

必須: はい

### resourceArn

分析されたリソースの ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: はい

### resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

## resourceType

分析されたリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |  
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key  
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |  
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot  
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |  
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |  
AWS::DynamoDB::Stream

必須: はい

## updatedAt

結果が更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

## actions

結果を生成したポリシーによって外部プリンシパルが使用を許可されたアクション。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

## error

エラーメッセージ。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## sharedVia

結果を生成したアクセスがどのように付与されるかを示します。これは Amazon S3 バケットの検出結果のために入力されます。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

status

分析されたリソースから生成された結果の現在のステータス。

型: 文字列

有効な値: ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# AnalyzedResourceSummary

分析されたリソースの ARN が含まれます。

## コンテンツ

### resourceArn

分析されたリソースの ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:.*`

必須: はい

### resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

### resourceType

分析されたリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値: `AWS::S3::Bucket` | `AWS::IAM::Role` | `AWS::SQS::Queue` |  
`AWS::Lambda::Function` | `AWS::Lambda::LayerVersion` | `AWS::KMS::Key`  
| `AWS::SecretsManager::Secret` | `AWS::EFS::FileSystem` |  
`AWS::EC2::Snapshot` | `AWS::ECR::Repository` | `AWS::RDS::DBSnapshot`  
| `AWS::RDS::DBClusterSnapshot` | `AWS::SNS::Topic` |  
`AWS::S3Express::DirectoryBucket` | `AWS::DynamoDB::Table` |  
`AWS::DynamoDB::Stream`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# AnalyzerConfiguration

AWS 組織またはアカウントの未使用のアクセスアナライザーの構成に関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

### unusedAccess

組織またはアカウントの未使用アクセスアナライザーの設定を指定します。AWS 外部アクセスアナライザーはいかなる構成もサポートしていません。

タイプ : [UnusedAccessConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)



# AnalyzerSummary

アナライザーに関する情報が含まれます。

## コンテンツ

arn

アナライザーの ARN。

型: 文字列

Pattern: `^[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:[^:]*:analyzer/.{1,255}`

必須: はい

createdAt

アナライザーが作成された時刻のタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: はい

name

アナライザーの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

status

アナライザーのステータス。Activeアナライザーは、サポートされているリソースを正常に監視し、新しい結果を生成します。アナライザーはDisabled、AWS Identity and Access Management Access Analyzer からの信頼できるアクセスを削除するなどのユーザーアクションにより AWS Organizations、アナライザーが新しい結果の生成を停止することです。ステータスは、Creatingアナライザーの作成が進行中であり、Failedアナライザーの作成が失敗したときです。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | CREATING | DISABLED | FAILED

必須: はい

## type

アナライザーのタイプ。アナライザー用に選択した信頼ゾーンに対応します。

型: 文字列

有効な値 : ACCOUNT | ORGANIZATION | ACCOUNT\_UNUSED\_ACCESS |  
ORGANIZATION\_UNUSED\_ACCESS

必須: はい

## configuration

アナライザーが外部アクセスアナライザーなのか、未使用のアクセスアナライザーなのかを指定します。

タイプ : [AnalyzerConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

## lastResourceAnalyzed

アナライザーが最近分析したリソース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## lastResourceAnalyzedAt

最後に分析されたリソースが分析された日時。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

## statusReason

statusReasonには、アナライザーの現在のステータスに関する詳細が表示されます。たとえば、アナライザーの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。タイプが「組織」のアナライザーの場合、この失敗は、組織のメンバーアカウントに必要なサービスにリンクされたロールの作成に問題があることが原因である可能性があります。AWS

タイプ: [StatusReason](#) オブジェクト

必須: いいえ

## tags

アナライザーに追加されたタグ。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ArchiveRuleSummary

アーカイブルールに関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### createdAt

アーカイブルールが作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### filter

アーカイブルールの定義に使用されるフィルター。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

### ruleName

アーカイブルールの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: `[A-Za-z][A-Za-z0-9_.-]*`

必須: はい

### updatedAt

アーカイブルールが最後に更新された時刻。

型: タイムスタンプ

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用する方法については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# CloudTrailDetails

CloudTrail アクセスに関する情報が含まれています。

## コンテンツ

### accessRole

IAM Access Analyzer CloudTrail がトレイルとサービスの最終アクセス情報にアクセスするために使用するサービスロールの ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:role/.{1,576}`

必須: はい

### startTime

IAM Access Analyzer がイベントをレビューする時間範囲の開始日です。CloudTrail この時間より前のタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### trails

Trailトレイルの設定を含むオブジェクト。

型: [Trail](#) オブジェクトの配列

必須: はい

### endTime

IAM Access Analyzer CloudTrail がイベントをレビューする時間範囲の終了日。この時間以降のタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。これがリクエストに含まれていない場合、デフォルト値は現在の時刻です。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# CloudTrailProperties

CloudTrail アクセスに関する情報が含まれています。

## コンテンツ

### endTime

IAM Access Analyzer CloudTrail がイベントをレビューする時間範囲の終了日。この時間以降のタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。これがリクエストに含まれていない場合、デフォルト値は現在の時刻です。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### startTime

IAM Access Analyzer がイベントをレビューする時間範囲の開始日です。CloudTrail この時間より前のタイムスタンプが付いたイベントは、ポリシーの生成とは見なされません。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### trailProperties

TrailPropertiesトレイルプロパティの設定を含むオブジェクト。

型: [TrailProperties](#) オブジェクトの配列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)





# Configuration

リソースのアクセス制御構成構造。設定はタイプと値のペアとして指定します。指定できるアクセス制御設定は 1 種類だけです。

## コンテンツ

### Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

### dynamodbStream

アクセスコントロール設定は DynamoDB ストリーム用です。

タイプ : [DynamodbStreamConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

### dynamodbTable

アクセスコントロール設定は DynamoDB テーブルまたはインデックス用です。

タイプ : [DynamodbTableConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

### ebsSnapshot

アクセスコントロール設定は Amazon EBS ボリュームスナップショット用です。

タイプ : [EbsSnapshotConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

### ecrRepository

アクセスコントロール設定は Amazon ECR リポジトリ用です。

タイプ : [EcrRepositoryConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## efsFileSystem

アクセスコントロール設定は Amazon EFS ファイルシステム用です。

タイプ : [EfsFileSystemConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## iamRole

アクセスコントロール設定は IAM ロール用です。

タイプ : [IamRoleConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## kmsKey

アクセス制御設定は KMS キー用です。

タイプ : [KmsKeyConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## rdsDbClusterSnapshot

アクセスコントロール設定は Amazon RDS DB クラスタースナップショット用です。

タイプ : [RdsDbClusterSnapshotConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## rdsDbSnapshot

アクセスコントロール設定は Amazon RDS DB スナップショット用です。

タイプ : [RdsDbSnapshotConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## s3Bucket

アクセスコントロール設定は Amazon S3 バケット用です。

タイプ : [S3BucketConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## s3ExpressDirectoryBucket

アクセスコントロール設定は Amazon S3 ディレクトリバケット用です。

タイプ : [S3ExpressDirectoryBucketConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## secretsManagerSecret

アクセス制御設定は Secrets Manager シークレット用です。

タイプ : [SecretsManagerSecretConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## snsTopic

アクセスコントロール設定は Amazon SNS トピック用です。

タイプ : [SnsTopicConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## sqsQueue

アクセスコントロール設定は Amazon SQS キュー用です。

タイプ : [SqsQueueConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# Criterion

アーカイブルールを定義するフィルタで使用する基準。使用可能なフィルターキーの詳細については、「[IAM Access Analyzer のフィルターキー](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### contains

ルールの作成に使用されたフィルターと一致する「contains」演算子。

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

### eq

ルールの作成に使用されたフィルターと一致する「等しい」演算子。

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

### exists

ルールの作成に使用されたフィルターと一致する「exists」演算子。

型: ブール値

必須: いいえ

### neq

ルールの作成に使用したフィルターと一致する「等しくない」演算子。

タイプ: 文字列の配列

配列メンバー: 最小数は 1 項目です。最大数は 20 項目です。

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# DynamodbStreamConfiguration

DynamoDB ストリームのアクセス制御構成案です。DynamoDB ストリームのポリシーを指定することで、新しい DynamoDB ストリームまたは所有する既存の DynamoDB ストリームの設定を提案できます。[PutResourcePolicy](#) 詳細については、「」を参照してください。

- 設定が既存の DynamoDB ストリーム用で、DynamoDB ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはストリームの既存の DynamoDB ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーなしの DynamoDB ストリームを想定します。
- 既存の DynamoDB ストリームポリシーの削除を提案するには、DynamoDB ポリシーに空の文字列を指定できます。

## コンテンツ

### streamPolicy

DynamoDB ストリームにアクセスしたり管理したりできるユーザーを定義するリソースポリシーの提案。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# DynamodbTableConfiguration

DynamoDB テーブルまたはインデックスの推奨アクセス制御設定。DynamoDB テーブルまたはインデックスのポリシーを指定することで、新しい DynamoDB テーブルまたはインデックス、または所有する既存の DynamoDB テーブルまたはインデックスの設定を提案できます。[PutResourcePolicy](#) 詳細については、「」を参照してください。

- 設定が既存の DynamoDB テーブルまたはインデックス用で、DynamoDB ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはテーブルまたはインデックスの既存の DynamoDB ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのない DynamoDB テーブルを想定します。
- 既存の DynamoDB テーブルまたはインデックスポリシーの削除を提案するには、DynamoDB ポリシーに空の文字列を指定できます。

## コンテンツ

### tablePolicy

DynamoDB テーブルにアクセスしたり管理したりできるユーザーを定義するリソースポリシーの提案。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)



# EbsSnapshotConfiguration

Amazon EBS ボリュームスナップショット用に提案されているアクセス制御設定。ユーザー ID、グループ、AWS KMS オプションの暗号化キーを指定することで、新しい Amazon EBS ボリュームスナップショットまたは所有している Amazon EBS ボリュームスナップショットの設定を提案できます。詳細については、「」を参照してください。 [ModifySnapshotAttribute](#)

## コンテンツ

### groups

Amazon EBS ボリュームスナップショットにアクセスできるグループ。all値が指定されている場合、Amazon EBS ボリュームスナップショットはパブリックです。

- 設定が既存の Amazon EBS ボリュームスナップショット用で、を指定しない場合groups、groupsアクセスプレビューではスナップショットの既存の共有が使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソースを対象としており、を指定しない場合groups、アクセスプレビューではスナップショットが何もないものとみなされます。groups
- 既存の共有の削除を提案するにはgroups、に空のリストを指定できます。groups

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

### kmsKeyId

暗号化された Amazon EBS ボリュームスナップショットの KMS キー識別子。KMS キー識別子は、KMS キーのキー ARN、キー ID、エイリアス ARN、またはエイリアス名です。

- 設定が既存の Amazon EBS ボリュームスナップショット用で、を指定しない場合kmsKeyId、または空の文字列を指定した場合、kmsKeyIdアクセスプレビューでは既存のスナップショットが使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、を指定しない場合kmsKeyId、アクセスプレビューはそのスナップショットが暗号化されていないと見なします。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### userIds

Amazon EBS AWS アカウント ボリュームスナップショットにアクセスできるの ID。

- 設定が既存の Amazon EBS ボリュームスナップショット用で、を指定しない場合 `userIds`、`userIds` アクセスプレビューではスナップショットの既存の共有が使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソースを対象としており、を指定しない場合 `userIds`、アクセスプレビューではスナップショットが何もないものとみなされます。 `userIds`
- 既存の共有の削除を提案するには `accountIds`、に空のリストを指定できます。 `userIds`

タイプ : 文字列の配列

必須 : いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# EcrRepositoryConfiguration

Amazon ECR リポジトリ用に提案されているアクセスコントロール設定。Amazon ECR ポリシーを指定することで、新しい Amazon ECR リポジトリまたは所有する既存の Amazon ECR リポジトリの設定を提案できます。[詳細については、「リポジトリ」を参照してください。](#)

- 設定が既存の Amazon ECR リポジトリ用で、Amazon ECR ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはリポジトリの既存の Amazon ECR ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのない Amazon ECR リポジトリを想定します。
- 既存の Amazon ECR リポジトリポリシーの削除を提案するには、Amazon ECR ポリシーに空の文字列を指定できます。

## コンテンツ

### repositoryPolicy

Amazon ECR リポジトリに適用する JSON リポジトリポリシーテキスト。詳細については、Amazon ECR ユーザーガイドの「[プライベートリポジトリポリシーの例](#)」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# EfsFileSystemConfiguration

Amazon EFS ファイルシステムのアクセス制御構成案です。Amazon EFS ポリシーを指定することで、新しい Amazon EFS ファイルシステム、または所有している既存の Amazon EFS ファイルシステムの設定を提案できます。詳細については、「[Amazon EFS でのファイルシステムの使用](#)」を参照してください。

- 設定が既存の Amazon EFS ファイルシステム用で、Amazon EFS ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはファイルシステムの既存の Amazon EFS ポリシーを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのない Amazon EFS ファイルシステムを想定します。
- 既存の Amazon EFS ファイルシステムポリシーの削除を提案するには、Amazon EFS ポリシーに空の文字列を指定できます。

## コンテンツ

### fileSystemPolicy

Amazon EFS ファイルシステムに適用する JSON ポリシー定義。ファイルシステムポリシーを構成する要素の詳細については、「[Amazon EFS リソースベースのポリシー](#)」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ExternalAccessDetails

外部アクセス結果に関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### condition

分析されたポリシーステートメントのうち、外部アクセス結果になった条件です。

型: 文字列間のマッピング

必須: はい

### action

分析されたポリシーステートメントのうち、外部プリンシパルが使用権限を持っているアクション。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

### isPublic

外部アクセス結果を公開するかどうかを指定します。

型: ブール値

必須: いいえ

### principal

トラストゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

### sources

外部アクセス結果のソース。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

型: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須：いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# Finding

結果に関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### analyzedAt

リソースが分析された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### condition

分析対象となったポリシーステートメントの条件。

型: 文字列間のマッピング

必須: はい

### createdAt

調査結果が生成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### id

結果の ID。

型: 文字列

必須: はい

### resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

## resourceType

結果で特定されたリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |  
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key  
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |  
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot  
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |  
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |  
AWS::DynamoDB::Stream

必須: はい

## status

結果の現在のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

## updatedAt

結果が更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

## action

分析されたポリシーステートメントのうち、外部プリンシパルが使用権限を持っているアクション。

タイプ : 文字列の配列

必須: いいえ

## error

エラー。



タイプ: 文字列

必須: いいえ

isPublic

結果を生成したポリシーがリソースへのパブリックアクセスを許可しているかどうかを示します。

型: ブール値

必須: いいえ

principal

トラストゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

sources

調査結果の情報源。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

型: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# FindingDetails

外部アクセスまたは未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。1 FindingDetails つのオブジェクトで利用できるパラメータは 1 つだけです。

## コンテンツ

### Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

#### externalAccessDetails

外部アクセスアナライザーによる結果の詳細。

タイプ : [ExternalAccessDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

#### unusedIamRoleDetails

未使用の IAM ロール検索タイプによる未使用のアクセスアナライザー結果の詳細。

タイプ : [UnusedIamRoleDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

#### unusedIamUserAccessKeyDetails

未使用の IAM ユーザーアクセスキー検索タイプによる未使用のアクセスアナライザー結果の詳細。

タイプ : [UnusedIamUserAccessKeyDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

#### unusedIamUserPasswordDetails

未使用の IAM ユーザーパスワード検索タイプによる未使用のアクセスアナライザー結果の詳細。

タイプ : [UnusedIamUserPasswordDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

## unusedPermissionDetails

未使用のアクセスアナライザーの結果と未使用の権限検索結果の詳細。

タイプ : [UnusedPermissionDetails](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# FindingSource

調査結果のソース。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

## コンテンツ

### type

結果を生成したアクセスのタイプを示します。

型: 文字列

有効な値 : POLICY | BUCKET\_ACL | S3\_ACCESS\_POINT | S3\_ACCESS\_POINT\_ACCOUNT

必須: はい

### detail

結果を生成したアクセスがどのように付与されるかについての詳細が含まれます。これは Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

タイプ : [FindingSourceDetail](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

## FindingSourceDetail

結果を生成したアクセスがどのように許可されるかについての詳細が含まれます。これは Amazon S3 バケットの検出結果のために入力されます。

### コンテンツ

#### accessPointAccount

結果を生成したクロスアカウントアクセスポイントのアカウント。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

#### accessPointArn

結果を生成したアクセスポイントの ARN。ARN 形式は、ARN がアクセスポイントを表しているのか、マルチリージョンアクセスポイントを表しているのかによって異なります。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# FindingSummary

結果に関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### analyzedAt

結果を生成したリソースベースのポリシーが分析された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### condition

分析対象となったポリシーステートメントの条件。

型: 文字列間のマッピング

必須: はい

### createdAt

調査結果が作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### id

結果の ID。

型: 文字列

必須: はい

### resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

## resourceType

外部プリンシパルがアクセスできるリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |  
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key  
| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |  
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot  
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |  
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |  
AWS::DynamoDB::Stream

必須: はい

## status

調査結果のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

## updatedAt

結果が最後に更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

## action

分析されたポリシーステートメントのうち、外部プリンシパルが使用権限を持っているアクション。

タイプ : 文字列の配列

必須: いいえ

## error

エラー検出に至ったエラー。



タイプ: 文字列

必須: いいえ

isPublic

パブリックアクセスを許可するポリシーを持つリソースが結果によって報告されるかどうかを示します。

型: ブール値

必須: いいえ

principal

トラストゾーン内のリソースにアクセスできる外部プリンシパル。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

sources

調査結果の情報源。これは、結果を生成したアクセスがどのように許可されるかを示します。Amazon S3 バケットの結果のために入力されます。

型: [FindingSource](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# FindingSummaryV2

結果に関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### analyzedAt

結果を生成したリソースベースのポリシーまたは IAM エンティティが分析された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### createdAt

結果が作成された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### id

結果の ID。

型: 文字列

必須: はい

### resourceOwnerAccount

リソースを所有する AWS アカウント ID。

型: 文字列

必須: はい

### resourceType

外部プリンシパルがアクセスできるリソースのタイプ。

型: 文字列

有効な値 : AWS::S3::Bucket | AWS::IAM::Role | AWS::SQS::Queue |  
AWS::Lambda::Function | AWS::Lambda::LayerVersion | AWS::KMS::Key

| AWS::SecretsManager::Secret | AWS::EFS::FileSystem |  
AWS::EC2::Snapshot | AWS::ECR::Repository | AWS::RDS::DBSnapshot  
| AWS::RDS::DBClusterSnapshot | AWS::SNS::Topic |  
AWS::S3Express::DirectoryBucket | AWS::DynamoDB::Table |  
AWS::DynamoDB::Stream

必須: はい

#### status

調査結果のステータス。

型: 文字列

有効な値 : ACTIVE | ARCHIVED | RESOLVED

必須: はい

#### updatedAt

結果が最後に更新された日時。

型: タイムスタンプ

必須: はい

#### error

エラー検出に至ったエラー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

#### findingType

外部アクセスまたは未使用のアクセス結果のタイプ。

型: 文字列

有効な値 : ExternalAccess | UnusedIAMRole | UnusedIAMUserAccessKey |  
UnusedIAMUserPassword | UnusedPermission

必須 : いいえ

## resource

外部プリンシパルがアクセスできるリソース。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# GeneratedPolicy

生成されたポリシーのテキストが含まれます。

## コンテンツ

policy

新しいポリシーのコンテンツとして使用するテキスト。ポリシーは、[CreatePolicy](#)アクションを使用して作成されます。

型: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# GeneratedPolicyProperties

生成されたポリシーの詳細が含まれます。

## コンテンツ

### principalArn

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam:[^:]*:(role|user)/.{1,576}`

必須: はい

### cloudTrailProperties

Trail 生成されたポリシーに使用された詳細を一覧表示します。

タイプ: [CloudTrailProperties](#) オブジェクト

必須: いいえ

### isComplete

この値は、IAM Access Analyzer true CloudTrail が指定したトレイルから特定したサービスに対して実行可能なアクションがすべて生成されたポリシーに含まれている場合、それ以外の場合はに設定されます。false

型: ブール値

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)





# GeneratedPolicyResult

生成されたポリシーのテキストとその詳細が含まれます。

## コンテンツ

### properties

`GeneratedPolicyProperties` 生成されたポリシーのプロパティを含むオブジェクト。

型: [GeneratedPolicyProperties](#) オブジェクト

必須: はい

### generatedPolicies

新しいポリシーのコンテンツとして使用するテキスト。ポリシーは、[CreatePolicy](#) アクションを使用して作成されます。

型: [GeneratedPolicy](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# iamRoleConfiguration

IAM ロール用に提案されているアクセス制御設定。信頼ポリシーを指定することで、新しい IAM ロールまたは所有している既存の IAM ロールの設定を提案できます。新しい IAM ロール用の設定の場合は、信頼ポリシーを指定する必要があります。所有している既存の IAM ロールの設定で、信頼ポリシーを提案しない場合、アクセスプレビューではロールに既存の信頼ポリシーが使用されます。提示された信頼ポリシーを空の文字列にすることはできません。ロールの信頼ポリシーの制限について詳しくは、「[IAM AWS STS とクォータ](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### trustPolicy

IAM ロール用に提案されている信頼ポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# InlineArchiveRule

アーカイブルール of 基準ステートメント。各アーカイブルールには複数の条件を設定できます。

## コンテンツ

filter

基準の条件と値。

タイプ: [Criterion](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: はい

ruleName

ルールの名前。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 1 です。最大長は 255 です。

パターン: [A-Za-z][A-Za-z0-9\_.-]\*

必須: はい

以下の資料も参照してください。

この API を言語固有の AWS SDK で使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# InternetConfiguration

この設定では、Amazon S3 アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントのネットワークオリジンを設定します。Internet

## コンテンツ

この例外構造のメンバーは、コンテキストに依存します。

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# JobDetails

ポリシー生成要求に関する詳細が含まれます。

## コンテンツ

### jobId

JobIdStartPolicyGenerationこれは操作によって返されます。GetGeneratedPolicyと併用して生成されたポリシーを取得したり、CancelPolicyGenerationと併用してポリシー生成要求をキャンセルしたりできます。JobId

型: 文字列

必須: はい

### startedOn

ジョブが開始されたときのタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### status

ジョブリクエストのステータス。

型: 文字列

有効な値 : IN\_PROGRESS | SUCCEEDED | FAILED | CANCELED

必須: はい

### completedOn

ジョブが完了したときのタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

### jobError

ポリシー生成リクエストのジョブエラー。

タイプ : [JobError](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# JobError

ポリシー生成エラーに関する詳細が含まれます。

## コンテンツ

### code

ジョブのエラーコード。

型: 文字列

有効な値 : AUTHORIZATION\_ERROR | RESOURCE\_NOT\_FOUND\_ERROR |  
SERVICE\_QUOTA\_EXCEEDED\_ERROR | SERVICE\_ERROR

必須: はい

### message

エラーに関する具体的な情報。たとえば、どのサービスクォータを超過したか、どのリソースが見つからなかったかなどです。

型: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# KmsGrantConfiguration

KMS キーのグラント設定の提案。詳細については、を参照してください[CreateGrant](#)。

## コンテンツ

### granteePrincipal

グラントが許可する操作を実行する権限を与えられたプリンシパル。

型: 文字列

必須: はい

### issuingAccount

助成金が発行された日時。AWS アカウント このアカウントは、AWS KMS キーの所有者以外のアカウントが発行したグラントの提案に使用されます。

型: 文字列

必須: はい

### operations

グラントが許可する操作のリスト。

タイプ: 文字列の配列

有効な値: CreateGrant | Decrypt | DescribeKey | Encrypt | GenerateDataKey | GenerateDataKeyPair | GenerateDataKeyPairWithoutPlaintext | GenerateDataKeyWithoutPlaintext | GetPublicKey | ReEncryptFrom | ReEncryptTo | RetireGrant | Sign | Verify

必須: はい

### constraints

この構造を使用して、操作リクエストに指定された暗号化コンテキストが含まれている場合にのみ、グラントで暗号化操作を許可することを提案します。

タイプ: [KmsGrantConstraints](#) オブジェクト

必須: いいえ



## retiringPrincipal

操作を使用して権限を廃止する権限を付与されたプリンシパル。 [RetireGrant](#)

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# KmsGrantConstraints

この構造を使用して、[操作リクエストに指定された暗号化コンテキストが含まれている場合にのみ、グラントで暗号化操作を許可することを提案します](#)。指定できる暗号化コンテキストは 1 種類だけです。空のマップは指定されていないものとして扱われます。詳細については、[を参照してください](#) [GrantConstraints](#)。

## コンテンツ

### encryptionContextEquals

[暗号化操作リクエストの暗号化コンテキストと一致する必要があるキーと値のペアのリスト](#)。許可によって操作が許可されるのは、リクエスト内の暗号化コンテキストが、この制約で指定された暗号化コンテキストと同じ場合のみです。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

### encryptionContextSubset

[暗号化操作リクエストの暗号化コンテキストに含める必要があるキーと値のペアのリスト](#)。この許可によって暗号化操作が許可されるのは、リクエスト内の暗号化コンテキストにこの制約で指定されたキーと値のペアが含まれている場合のみですが、キーと値のペアを追加することもできます。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API AWS を言語固有の SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# KmsKeyConfiguration

KMS キーのアクセス制御構成を提案しました。キーポリシーとグラント設定を指定することで、新しい KMS キーまたは所有している既存の KMS キーの設定を提案できます。AWS KMS 構成が既存のキー用で、キーポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではキーの既存のポリシーが使用されます。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、キーポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはデフォルトのキーポリシーを使用します。提案されたキーポリシーを空の文字列にすることはできません。詳しくは、「[デフォルトキーポリシー](#)」を参照してください。キーポリシー制限について詳しくは、「[リソースクォータ](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### grants

KMS キーに対して提案されているグラント設定のリスト。提案されている権限設定が既存のキーに関するものである場合、アクセスプレビューでは、既存の権限の代わりに提案された権限設定のリストが使用されます。それ以外の場合、アクセスプレビューはキーの既存の許可を使用します。

型: [KmsGrantConfiguration](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

### keyPolicies

KMS キーのリソースポリシー設定。キーポリシーの名前の唯一の有効な値は default。詳細については、「[デフォルトキーポリシー](#)」を参照してください。

型: 文字列間のマッピング

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)

- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# Location

JSON 表現とそれに対応するスパンを通るパスとして表されるポリシー内の場所。

## コンテンツ

### path

ポリシー内のパス。パス要素のシーケンスとして表されます。

型: [PathElement](#) オブジェクトの配列

必須: はい

### span

ポリシー内のスパン。

型: [Span](#) オブジェクト

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# NetworkOriginConfiguration

Amazon S3 InternetConfiguration VpcConfiguration アクセスポイントへの提案または申請について。VpcConfiguration マルチリージョンのアクセスポイントには適用されません。アクセスポイントにインターネットからアクセスできるようにすることも、そのアクセスポイントを介して行われるすべてのリクエストが特定の仮想プライベートクラウド (VPC) から発信されるように指定することもできます。指定できるネットワーク構成は 1 種類だけです。詳細については、「[アクセスポイントの作成](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

### internetConfiguration

Amazon S3 Internet アクセスポイントまたはオリジンを使用するマルチリージョンアクセスポイントの構成。

タイプ: [InternetConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

### vpcConfiguration

Amazon S3 アクセスポイント用に提案されている仮想プライベートクラウド (VPC) 構成。VPC 設定はマルチリージョンのアクセスポイントには適用されません。詳細については、「」を参照してください。 [VpcConfiguration](#)

タイプ: [VpcConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# PathElement

ポリシーの JSON 表現を通るパス内の単一要素。

## コンテンツ

### Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

#### index

JSON 配列内のインデックスを参照します。

タイプ: 整数

必須: いいえ

#### key

JSON オブジェクト内のキーを指します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

#### substring

JSON オブジェクト内のリテラル文字列の部分文字列を指します。

タイプ: [Substring](#) オブジェクト

必須: いいえ

#### value

JSON オブジェクト内の特定のキーに関連付けられた値を参照します。

タイプ: 文字列

必須: いいえ



## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# PolicyGeneration

ポリシー生成ステータスとプロパティに関する詳細が含まれます。

## コンテンツ

### jobId

JobIdStartPolicyGenerationこれは操作によって返されます。GetGeneratedPolicyと併用して生成されたポリシーを取得したり、CancelPolicyGenerationと併用してポリシー生成要求をキャンセルしたりできます。JobId

型: 文字列

必須: はい

### principalArn

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。

型: 文字列

Pattern: arn:[^:]\*:iam::[^:]\*:(role|user)/.{1,576}

必須: はい

### startedOn

ポリシー生成が開始されたときのタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: はい

### status

ポリシー生成リクエストのステータス。

型: 文字列

有効な値: IN\_PROGRESS | SUCCEEDED | FAILED | CANCELED

必須: はい

## completedOn

ポリシー生成が完了したときのタイムスタンプ。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# PolicyGenerationDetails

ポリシーが生成される IAM エンティティに関する ARN の詳細が含まれます。

## コンテンツ

### principalArn

ポリシーを生成する IAM エンティティ (ユーザーまたはロール) の ARN。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:iam::[^:]*:(role|user)/.{1,576}`

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# Position

ポリシー内の立場。

## コンテンツ

column

0 から始まるポジションの列。

タイプ: 整数

必須: はい

line

1 から始まる位置の行。

タイプ: 整数

必須: はい

offset

0 から始まる、位置に対応するポリシー内のオフセット。

タイプ: 整数

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# RdsDbClusterSnapshotAttributeValue

手動の Amazon RDS DB クラスタースナップショット属性の値。

## コンテンツ

### Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

### accountIds

手動の Amazon RDS DB クラスタースナップショットにアクセスできる AWS アカウント ID。all値が指定されている場合、Amazon RDS DB クラスタースナップショットは公開され、誰でもコピーまたは復元できます。AWS アカウント

- 設定が既存の Amazon RDS DB クラスタースナップショット用で、で指定しない場合RdsDbClusterSnapshotAttributeValue、accountIdsaccountIdsアクセスプレビューではスナップショットの既存の共有が使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、指定を指定しなかった場合RdsDbClusterSnapshotAttributeValue、accountIdsアクセスプレビューでは属性なしのスナップショットと見なされます。
- 既存の共有の削除を提案するにはaccountIds、に空のリストを指定できま  
すaccountIds。RdsDbClusterSnapshotAttributeValue

タイプ：文字列の配列

必須：いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)



# RdsDbClusterSnapshotConfiguration

Amazon RDS DB クラスタースナップショット用に提案されているアクセスコントロール設定。AWS KMS オプションの暗号化キーを指定することで、新しい Amazon RDS DB クラスタースナップショットまたは所有している Amazon RDS DB クラスタースナップショットの設定を提案できます。RdsDbClusterSnapshotAttributeValue [詳細については、「ModifyDB」を参照してください。](#) [ClusterSnapshotAttribute](#)

## コンテンツ

### attributes

手動 DB クラスタースナップショット属性の名前と値。手動 DB クラスタースナップショット属性は、他のユーザーが手動 DB AWS アカウント クラスタースナップショットを復元することを許可するために使用されます。AttributeName属性マップの唯一の有効な値は restore

タイプ: [RdsDbClusterSnapshotAttributeValue](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

### kmsKeyId

暗号化された Amazon RDS DB クラスタースナップショットの KMS キー識別子。KMS キー識別子は、KMS キーのキー ARN、キー ID、エイリアス ARN、またはエイリアス名です。

- 設定が既存の Amazon RDS DB クラスタースナップショット用で、を指定しない場合 kmsKeyId、または空の文字列を指定した場合、kmsKeyIdアクセスプレビューでは既存のスナップショットが使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、を指定しなかった場合 kmsKeyId、アクセスプレビューはそのスナップショットが暗号化されていないと見なします。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)



- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# RdsDbSnapshotAttributeValue

手動の Amazon RDS DB スナップショット属性の名前と値。手動 DB スナップショット属性は、他のユーザーが手動 DB AWS アカウント スナップショットを復元することを許可するために使用されます。

## コンテンツ

### Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

### accountIds

手動の Amazon RDS DB スナップショットにアクセスできる AWS アカウント ID。all値が指定されている場合、Amazon RDS DB スナップショットは公開され、AWS アカウント誰でもコピーまたは復元できます。

- 設定が既存の Amazon RDS DB スナップショット用で、で指定しない場合 RdsDbSnapshotAttributeValue、accountIdsaccountIdsアクセスプレビューではスナップショットの既存の共有が使用されます。
- アクセスプレビューが新しいリソースを対象としており RdsDbSnapshotAttributeValue、accountIds in を指定しなかった場合、アクセスプレビューでは属性なしのスナップショットと見なされます。
- 既存の共有の削除を提案するにはaccountIds、に空のリストを指定できますaccountIds。RdsDbSnapshotAttributeValue

タイプ：文字列の配列

必須：いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# RdsDbSnapshotConfiguration

Amazon RDS DB スナップショット用に提案されているアクセスコントロール設定。AWS KMS オプションの暗号化キーを指定することで、新しい Amazon RDS DB スナップショットまたは所有している Amazon RDS DB スナップショットの設定を提案できます。RdsDbSnapshotAttributeValue [詳細については、「ModifyDB」を参照してください。](#) [SnapshotAttribute](#)

## コンテンツ

### attributes

手動 DB スナップショット属性の名前と値。手動 DB スナップショット属性は、AWS アカウント 他のユーザーに手動 DB スナップショットの復元を許可するために使用されます。attributeName属性マップで有効な値は restore だけです。

タイプ: [RdsDbSnapshotAttributeValue](#) オブジェクトマップへの文字列です。

必須: いいえ

### kmsKeyId

暗号化された Amazon RDS DB スナップショットの KMS キー識別子。KMS キー識別子は、KMS キーのキー ARN、キー ID、エイリアス ARN、またはエイリアス名です。

- 設定が既存の Amazon RDS DB スナップショット用で、を指定しない場合kmsKeyId、または空の文字列を指定した場合、kmsKeyIdアクセスプレビューは既存のスナップショットを使用します。
- アクセスプレビューが新しいリソース用で、を指定しなかった場合kmsKeyId、アクセスプレビューはそのスナップショットが暗号化されていないと見なします。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)

- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ReasonSummary

アクセスチェックが合格または失敗した理由に関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### description

アクセスチェックの結果の理由の説明。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### statementId

理由ステートメントの識別子。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### statementIndex

理由ステートメントのインデックス番号。

タイプ: 整数

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# RecommendationError

結果のレコメンデーションの取得が失敗した理由に関する情報が含まれます。

## 内容

### code

結果のレコメンデーションの取得に失敗したエラーコード。

型: 文字列

必須: はい

### message

結果のレコメンデーションの取得に失敗した場合のエラーメッセージ。

型: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

# RecommendedStep

未使用のアクセスアナライザーの検出結果の推奨ステップに関する情報が含まれています。

## 内容

### Important

このデータ型は共用体であるため、使用または返されるときは次のメンバーのうちの 1 つだけを指定できます。

### unusedPermissionsRecommendedStep

未使用のアクセス許可の検出結果の推奨ステップ。

タイプ : [UnusedPermissionsRecommendedStep](#) オブジェクト

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)



# S3AccessPointConfiguration

Amazon S3 アクセスポイントまたはバケットのマルチリージョンアクセスポイントの設定。バケットあたり最大 10 個のアクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントを提案できます。提案された Amazon S3 アクセスポイント設定が既存のバケット用である場合、アクセスプレビューでは、既存のアクセスポイントの代わりに提案されたアクセスポイント設定が使用されます。ポリシーのないアクセスポイントを提案するには、アクセスポイントポリシーとして空の文字列を指定します。詳細については、「[アクセスポイントの作成](#)」を参照してください。アクセスポイントポリシーの制限事項の詳細については、[アクセスポイントの制約と制限](#)を参照してください。。

## コンテンツ

### accessPointPolicy

アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### networkOrigin

このAmazon S3 Internet アクセスポイントに提案されVpcConfiguration、適用される予定です。VpcConfigurationマルチリージョンのアクセスポイントには適用されません。アクセスプレビューが新しいリソース用で、どちらも指定されていない場合、Internetアクセスプレビューはネットワークオリジン用に使用されます。アクセスプレビューが既存のリソースを対象としており、どちらも指定されていない場合、アクセスプレビューは既存のネットワークオリジンを使用します。

タイプ: [NetworkOriginConfiguration](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: いいえ

### publicAccessBlock

この Amazon S3 S3PublicAccessBlock アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントに適用する推奨設定。

タイプ: [S3PublicAccessBlockConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# S3BucketAclGrantConfiguration

Amazon S3 バケットのアクセスコントロールリスト許可設定の提案。詳細については、「[ACL を指定する方法](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### grantee

アクセス権を割り当てている被付与者。

タイプ: [AclGrantee](#) オブジェクト

注: このオブジェクトは共用体です。このオブジェクトのメンバーは 1 つだけ指定または取得できます。

必須: はい

### permission

付与されている権限。

型: 文字列

有効な値: READ | WRITE | READ\_ACP | WRITE\_ACP | FULL\_CONTROL

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# S3BucketConfiguration

Amazon S3 バケットのアクセス制御設定の提案。Amazon S3 バケットポリシー、バケット ACL、バケット BPA 設定、Amazon S3 アクセスポイント、およびバケットにアタッチされたマルチリージョンアクセスポイントを指定することで、新しい Amazon S3 バケットまたは所有する既存の Amazon S3 バケットの設定を提案できます。設定が既存の Amazon S3 バケット用で、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはバケットにアタッチされた既存のポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではポリシーのないバケットが想定されます。既存のバケットポリシーの削除を提案するには、空の文字列を指定します。バケットポリシーの制限の詳細については、「[バケットポリシーの例](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### accessPoints

バケットの Amazon S3 アクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイントの構成。バケットごとに最大 10 個の新しいアクセスポイントを提案できます。

タイプ: [S3AccessPointConfiguration](#) オブジェクトマップへの文字列です。

キーパターン: `arn:[^:]*:s3:[^:]*:[^:]*:accesspoint/.*`

必須: いいえ

### bucketAclGrants

Amazon S3 バケット用に提案されている ACL グラントのリスト。1 つのバケットにつき最大 100 件の ACL 付与を提案できます。提案された許可設定が既存のバケット用である場合、アクセスプレビューでは、既存の許可の代わりに提案された許可設定のリストが使用されます。それ以外の場合、アクセスプレビューはバケットの既存の許可を使用します。

型: [S3BucketAclGrantConfiguration](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

### bucketPolicy

Amazon S3 バケット用に提案されているバケットポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

bucketPublicAccessBlock

Amazon S3 バケット用に提案されているブロックパブリックアクセス設定。

タイプ : [S3PublicAccessBlockConfiguration](#) オブジェクト

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# S3ExpressDirectoryBucketConfiguration

Amazon S3 ディレクトリバケットのアクセス制御設定の提案。Amazon S3 バケットポリシーを指定することで、新しい Amazon S3 ディレクトリバケットまたは所有する既存の Amazon S3 ディレクトリバケットの設定を提案できます。設定が既存の Amazon S3 ディレクトリバケット用で、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはディレクトリバケットにアタッチされた既存のポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソース用で、Amazon S3 バケットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのないディレクトリバケットを想定します。既存のバケットポリシーの削除を提案するには、空の文字列を指定します。Amazon S3 ディレクトリバケットポリシーの詳細については、「[S3 Express One ザーンのディレクトリバケットポリシーの例](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### bucketPolicy

Amazon S3 ディレクトリバケット用に提案されているバケットポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# S3PublicAccessBlockConfiguration

この Amazon S3 PublicAccessBlock バケットに適用する設定。提案された設定が既存の Amazon S3 バケット用で、設定が指定されていない場合、アクセスプレビューは既存の設定を使用します。提案された設定が新しいバケット用で、設定が指定されていない場合、アクセスプレビューではその設定が使用されます `false`。提案された構成が新しいアクセスポイントまたはマルチリージョンアクセスポイント用で、アクセスポイントの BPA 構成が指定されていない場合、アクセスプレビューではが使用されます。 `true` 詳細については、[を参照してください](#)。

## コンテンツ

### ignorePublicAcls

Amazon S3 がこのバケットおよびこのバケットのオブジェクトのパブリック ACL を無視するかどうかを指定します。

型: ブール値

必須: はい

### restrictPublicBuckets

Amazon S3 が、このバケットのパブリックバケットポリシーを制限するかどうかを指定します。

型: ブール値

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# SecretsManagerSecretConfiguration

Secrets Manager シークレットの設定。詳細については、[を参照してください](#) [CreateSecret](#)。

AWS KMS シークレットポリシーとオプションの暗号化キーを指定することで、新しいシークレットまたは所有している既存のシークレットの設定を提案できます。構成が既存のシークレット用で、シークレットポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではシークレット用の既存のポリシーが使用されます。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーのないシークレットを想定します。既存のポリシーの削除を提案するには、空の文字列を指定します。提案された構成が新しいシークレット用で、KMS キー ID を指定しない場合、AWS aws/secretsmanager アクセスプレビューでは管理キーが使用されます。KMS キー ID に空の文字列を指定すると、AWS アクセスプレビューではの管理キーが使用されます。AWS アカウントシークレットポリシーの制限について詳しくは、「[Quotas for](#)」を参照してください。AWS Secrets Manager。

## コンテンツ

### kmsKeyId

提案された ARN、キー ID、または KMS キーのエイリアス。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### secretPolicy

シークレットにアクセスしたり管理したりできるユーザーを定義するリソースポリシーの提案。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)





# SnsTopicConfiguration

Amazon SNS トピック用に提案されているアクセスコントロール設定。ポリシーを指定することで、新しい Amazon SNS トピックまたは所有する既存の Amazon SNS トピックの設定を提案できます。設定が既存の Amazon SNS トピック用で、Amazon SNS ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではトピックの既存の Amazon SNS ポリシーが使用されます。アクセスプレビューが新しいリソースを対象としており、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューではポリシーのない Amazon SNS トピックが想定されます。既存の Amazon SNS トピックポリシーの削除を提案するには、Amazon SNS ポリシーに空の文字列を指定できます。[詳細については、「トピック」を参照してください。](#)

## コンテンツ

### topicPolicy

Amazon SNS トピックにアクセスできるユーザーを定義する JSON ポリシーテキスト。詳細については、Amazon SNS [開発者ガイドの「Amazon SNS アクセスコントロールのサンプルケース」](#)を参照してください。

型: 文字列

長さの制限: 最小長は 0 です。最大長は 30720 です。

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# SortCriteria

ソートに使用される基準。

## コンテンツ

### attributeName

ソートの基準となる属性の名前。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### orderBy

昇順または降順のソート順序。

型: 文字列

有効な値 : ASC | DESC

必須 : いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# Span

ポリシー内のスパン。スパンは開始位置 (含む) と終了位置 (含まない) で構成されます。

## コンテンツ

end

スパンの終了位置 (除く)。

型: [Position](#) オブジェクト

必須: はい

start

スパンの開始位置 (含む)。

型: [Position](#) オブジェクト

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# SqsQueueConfiguration

Amazon SQS キュー用に提案されているアクセスコントロール設定。Amazon SQS ポリシーを指定することで、新しい Amazon SQS キュー、またはお客様が所有する既存の Amazon SQS キューの設定を提案できます。設定が既存の Amazon SQS キュー用で、Amazon SQS ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはキューの既存の Amazon SQS ポリシーを使用します。アクセスプレビューが新しいリソースに対するもので、ポリシーを指定しない場合、アクセスプレビューはポリシーなしの Amazon SQS キューを想定します。既存の Amazon SQS キューポリシーの削除を提案するには、Amazon SQS ポリシーに空の文字列を指定します。Amazon SQS ポリシー制限の詳細については、「[ポリシーに関連するクォータ](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### queuePolicy

Amazon SQS キュー用に提案されているリソースポリシー。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# StatusReason

アナライザーの現在のステータスに関する詳細が表示されます。たとえば、アナライザーの作成に失敗すると、Failedステータスが返されます。タイプが「組織」のアナライザーの場合、この失敗は、組織のメンバーアカウントに必要なサービスにリンクされたロールの作成に問題があることが原因である可能性があります。AWS

## コンテンツ

### code

アナライザーの現在のステータスを示す理由コード。

型: 文字列

有効な値 : AWS\_SERVICE\_ACCESS\_DISABLED |  
DELEGATED\_ADMINISTRATOR\_DEREGISTERED | ORGANIZATION\_DELETED |  
SERVICE\_LINKED\_ROLE\_CREATION\_FAILED

必須 : はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# Substring

JSON ドキュメント内のリテラル文字列の部分文字列への参照。

## コンテンツ

length

サブストリングの長さ。

タイプ: 整数

必須: はい

start

0 から始まるサブストリングの開始インデックス。

タイプ: 整数

必須: はい

以下の資料も参照してください。

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# Trail

CloudTrail ポリシーを生成するために分析されているトレイルに関する詳細が含まれます。

## コンテンツ

### cloudTrailArn

トレイルの ARN を指定します。トレイル ARN の形式は `arn:aws:cloudtrail:us-east-2:123456789012:trail/MyTrail`。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:cloudtrail:[^:]*:[^:]*:trail/.{1,576}`

必須: はい

### allRegions

想定される値は、`true` または `false` です。に設定すると `true`、IAM Access Analyzer CloudTrail はすべてのリージョンからデータを取得して分析し、ポリシーを生成します。

型: ブール値

必須: いいえ

### regions

CloudTrail データを取得して分析してポリシーを生成するリージョンのリスト。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)





# TrailProperties

CloudTrail ポリシーを生成するために分析されているトレイルに関する詳細が含まれます。

## コンテンツ

### cloudTrailArn

トレイルの ARN を指定します。トレイル ARN の形式は `arn:aws:cloudtrail:us-east-2:123456789012:trail/MyTrail` です。

型: 文字列

Pattern: `arn:[^:]*:cloudtrail:[^:]*:[^:]*:trail/.{1,576}`

必須: はい

### allRegions

想定される値は、`true` または `false` です。に設定すると `true`、IAM Access Analyzer CloudTrail はすべてのリージョンからデータを取得して分析し、ポリシーを生成します。

型: ブール値

必須: いいえ

### regions

CloudTrail データを取得して分析してポリシーを生成するリージョンのリスト。

タイプ: 文字列の配列

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)



# UnusedAccessConfiguration

未使用のアクセスアナライザーに関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### unusedAccessAge

未使用のアクセスに関する結果を生成する指定のアクセス期間 (日単位)。たとえば、90 日を指定した場合、アナライザーは、アナライザーの前のスキャンから 90 日以上使用されていないアクセスについて、選択した組織のアカウント内の IAM エンティティに関する結果を生成します。1 ~ 180 日の値を選択できます。

タイプ: 整数

必須: いいえ

## その他の参照資料

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# UnusedAction

アクションの未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### action

未使用のアクセス結果が生成されたアクションです。

型: 文字列

必須: はい

### lastAccessed

アクションが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# UnusedIamRoleDetails

IAM ロールの未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### lastAccessed

ロールが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# UnusedIamUserAccessKeyDetails

IAM ユーザーアクセスキーの未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### accessKeyId

未使用のアクセス結果が生成されたアクセスキーの ID。

型: 文字列

必須: はい

### lastAccessed

アクセスキーが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法について詳しくは、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# UnusedIamUserPasswordDetails

IAM ユーザーパスワードの未使用のアクセス結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

## コンテンツ

### lastAccessed

パスワードが最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

## その他の参照資料

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)



# UnusedPermissionDetails

アクセス許可の未使用のアクセス検出結果に関する情報が含まれます。IAM Access Analyzer では、1 か月あたりに分析された IAM ロールとユーザーの数に基づいて、未使用のアクセス分析に対する料金が発生します。価格設定の詳細については、「[IAM Access Analyzer pricing](#)」を参照してください。

## 内容

### serviceNamespace

未使用のアクションを含む AWS サービスの名前空間。

型: 文字列

必須: はい

### actions

未使用のアクセス検出結果が生成された未使用のアクションのリスト。

型: [UnusedAction](#) オブジェクトの配列

必須: いいえ

### lastAccessed

アクセス許可が最後にアクセスされた時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)



# UnusedPermissionsRecommendedStep

未使用のアクセス許可の調査結果に、ポリシーに対して実行するアクションに関する情報が含まれます。

## 内容

### recommendedAction

未使用のアクセス許可の検出結果のポリシーを作成またはデタッチするかどうかに関する推奨事項。

型: 文字列

有効な値: CREATE\_POLICY | DETACH\_POLICY

必須: はい

### existingPolicyId

未使用のアクセス許可の検出結果で推奨されるアクションがポリシーをデタッチする場合、デタッチする既存のポリシーの ID。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

### policyUpdatedAt

未使用のアクセス許可の検出結果の既存のポリシーが最後に更新された時刻。

型: タイムスタンプ

必須: いいえ

### recommendedPolicy

未使用のアクセス許可の検出結果に対して推奨されるアクションが既存のポリシーを置き換えることである場合は、existingPolicyId フィールドで指定されたポリシーを置き換える推奨ポリシーの内容です。

タイプ: 文字列

必須: いいえ

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDKs のいずれかでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS SDK for Java V2](#)
- [AWS SDK for Ruby V3](#)

# ValidatePolicyFinding

ポリシー内の発見。調査結果はそれぞれ、ポリシーの改善に役立つ実用的な推奨事項です。

## コンテンツ

### findingDetails

調査結果を説明し、その対処方法に関するガイダンスを提供するローカライズされたメッセージ。

型: 文字列

必須: はい

### findingType

調査結果の影響。

セキュリティ警告は、過度に許可されていると見なされるアクセスがポリシーで許可されている場合に報告されます。

ポリシーの一部が機能していない場合、エラーが報告されます。

ポリシーがポリシー作成のベストプラクティスに準拠していない場合、警告はセキュリティ以外の問題を報告します。

提案は、アクセスに影響を与えないようなポリシーの文体的な改善を推奨するものです。

型: 文字列

有効な値 : ERROR | SECURITY\_WARNING | SUGGESTION | WARNING

必須: はい

### issueCode

問題コードには、この調査結果に関連する問題の識別情報が記載されています。

型: 文字列

必須: はい

## learnMoreLink

調査結果のタイプに関する追加ドキュメントへのリンク。

型: 文字列

必須: はい

## locations

調査結果に関連するポリシードキュメント内の場所のリスト。問題コードには、調査結果によって特定された問題の概要が記載されています。

型: [Location](#) オブジェクトの配列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

言語固有の AWS SDK の 1 つでこの API を使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# ValidationExceptionField

検証例外に関する情報が含まれます。

## コンテンツ

### message

検証例外に関するメッセージ。

型: 文字列

必須: はい

### name

検証例外の名前。

型: 文字列

必須: はい

以下の資料も参照してください。

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)

# VpcConfiguration

Amazon S3 アクセスポイントの仮想プライベートクラウド (VPC) 構成案です。VPC 設定はマルチリージョンのアクセスポイントには適用されません。詳細については、「」を参照してください。[VpcConfiguration](#)

## コンテンツ

vpclId

このフィールドを指定すると、このアクセスポイントは指定した VPC ID からの接続のみを許可します。

型: 文字列

Pattern: vpc-([0-9a-f]){8}(([0-9a-f]){9})?

必須: はい

以下の資料も参照してください。

この API を言語固有の AWS SDK で使用方法の詳細については、以下を参照してください。

- [AWS SDK for C++](#)
- [AWS Java V2 用 SDK](#)
- [AWS ルビー V3 用 SDK](#)



# 共通パラメータ

次のリストには、すべてのアクションが署名バージョン 4 リクエストにクエリ文字列で署名するために使用するパラメータを示します。アクション固有のパラメータは、アクションのトピックに示されています。Signature Version 4 の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS API リクエストの署名](#)」を参照してください。

## Action

実行するアクション。

型: 文字列

必須: はい

## Version

リクエストが想定している API バージョンである、YYYY-MM-DD 形式で表示されます。

型: 文字列

必須: はい

## X-Amz-Algorithm

リクエストの署名を作成するのに使用したハッシュアルゴリズム。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

有効な値: AWS4-HMAC-SHA256

必須: 条件による

## X-Amz-Credential

認証情報スコープの値で、アクセスキー、日付、対象とするリージョン、リクエストしているサービス、および終了文字列 ("aws4\_request") を含む文字列です。値は次の形式で表現されます。[access\_key/YYYYYYYYMMDD/リージョン/サービス/aws4\_request]

詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[署名付き AWS API リクエストの作成](#)」を参照してください。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

#### X-Amz-Date

署名を作成するときに使用する日付です。形式は ISO 8601 基本形式の YYYYMMDD'T'HHMMSS'Z' でなければなりません。例えば、日付 20120325T120000Z は、有効な X-Amz-Date の値です。

条件: X-Amz-Date はすべてのリクエストに対してオプションです。署名リクエストで使用する日付よりも優先される日付として使用できます。ISO 8601 ベーシック形式で日付ヘッダーが指定されている場合、X-Amz-Date は必要ありません。X-Amz-Date を使用すると、常に Date ヘッダーの値よりも優先されます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS API リクエスト署名の要素](#)」を参照してください。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

#### X-Amz-Security-Token

AWS Security Token Service (AWS STS) への呼び出しで取得された一時的なセキュリティトークン。AWS STS の一時的なセキュリティ認証情報をサポートするサービスのリストについては、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM と連携するAWS のサービス](#)」を参照してください。

条件: AWS STS の一時的なセキュリティ認証情報を使用する場合、セキュリティトークンを含める必要があります。

タイプ: 文字列

必須: 条件による

#### X-Amz-Signature

署名する文字列と派生署名キーから計算された 16 進符号化署名を指定します。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

## X-Amz-SignedHeaders

正規リクエストの一部として含まれていたすべての HTTP ヘッダーを指定します。署名付きヘッダーの指定に関する詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[署名付き AWS API リクエストの作成](#)」を参照してください。

条件: HTTP 認証ヘッダーではなくクエリ文字列に認証情報を含める場合は、このパラメータを指定します。

型: 文字列

必須: 条件による

## 共通エラー

このセクションでは、AWS のすべてのサービスの API アクションに共通のエラーを一覧表示しています。このサービスの API アクションに固有のエラーについては、その API アクションのトピックを参照してください。

### AccessDeniedException

このアクションを実行する十分なアクセス権がありません。

HTTP ステータスコード: 403

### ExpiredTokenException

リクエストに含まれるセキュリティトークンの有効期限が切れています

HTTP ステータスコード: 403

### IncompleteSignature

リクエストの署名が AWS 基準に適合しません。

HTTP ステータスコード: 403

### InternalFailure

リクエストの処理が、不明なエラー、例外、または障害により実行できませんでした。

HTTP ステータスコード: 500

### MalformedHttpRequestException

HTTP レベルでのリクエストに問題がある。例えば、コンテンツエンコーディングで指定された解凍アルゴリズムに従って本文を解凍できないなど。

HTTP ステータスコード: 400

### NotAuthorized

このアクションを実行するにはアクセス許可が必要です。

HTTP ステータスコード: 401

### OptInRequired

サービスを利用するためには、AWS アクセスキー ID を取得する必要があります。

HTTP ステータスコード: 403

RequestAbortedException

応答が送り返される前にリクエストが中止された場合に使用できる便利な例外 (クライアントが接続を閉じた場合など)。

HTTP ステータスコード: 400

RequestEntityTooLargeException

HTTP レベルでのリクエストに関する問題。リクエストエンティティが大きすぎる。

HTTP ステータスコード: 413

RequestExpired

リクエストの日付スタンプの 15 分以上後またはリクエストの有効期限 (署名付き URL の場合など) の 15 分以上後に、リクエストが到着しました。または、リクエストの日付スタンプが現在より 15 分以上先です。

HTTP ステータスコード: 400

RequestTimeoutException

HTTP レベルでのリクエストに問題がある。リクエストの読み取りがタイムアウトになりました。

HTTP ステータスコード: 408

ServiceUnavailable

リクエストは、サーバーの一時的障害のために実行に失敗しました。

HTTP ステータスコード: 503

ThrottlingException

リクエストは、制限が必要なために実行が拒否されました。

HTTP ステータスコード: 400

UnrecognizedClientException

指定された x.509 証明書、または AWS アクセスキー ID が見つかりません。

HTTP ステータスコード: 403

## UnknownOperationException

リクエストされたアクション、またはオペレーションは無効です。アクションが正しく入力されていることを確認します。

HTTP ステータスコード: 404

## ValidationError

入力が、AWS サービスで指定された制約を満たしていません。

HTTP ステータスコード: 400

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。